

みんながいきいき活躍できる 住みよいまち

～子どもの姿が見え、若者が帰ってくる、高齢者も元気なまち～

なしたまー！
えーまち 日吉地区♪

河内町

普光寺

愛宕山

高橋醤油

日吉小学校

山田町

大工町

大石内蔵助
の腰掛石

甲和泉町

馬渡谷町

がいなうどん

満久町

乙和泉町

日吉神社

島町

野上町

池上町

西野々町

春岡寺

大日寺
背面十字架地蔵

加西市

神戸市



目次

第1章	はじめに	1
第2章	日吉地区の現況と課題	2
(1)	日吉地区の現況	2
i.	位置	2
ii.	地勢	3
iii.	人口・世帯	4
iv.	交通	5
v.	地域資源	6
(2)	地区住民のまちづくりに対する意向	7
i.	アンケート調査結果	7
ii.	ワークショップの実施	22
(3)	まちづくりへ向けた魅力と課題の整理	40
第3章	日吉地区が目指す将来像	42
(1)	まちづくりの将来像	42
(2)	まちづくりの基本方針	42
i.	地区内外への情報発信を充実する	42
ii.	高齢者のいきいきした活動を促進する	42
iii.	若者が帰ってきやすいまちづくりを推進する	42
iv.	地区内の交流を促進する	42
v.	豊かな自然を守り育てる	42
vi.	観光の活性化を図る	42
第4章	まちづくりの推進に向けて	43
(1)	活動組織の体制	43
(2)	今後の活動計画	44
i.	地区内外への情報発信	44
ii.	高齢者のいきいきした活動の促進	45
iii.	若者が帰ってきやすいまちづくり	46
iv.	地区内の交流の促進	47
v.	豊かな自然の守り育て	48
vi.	観光の活性化	49

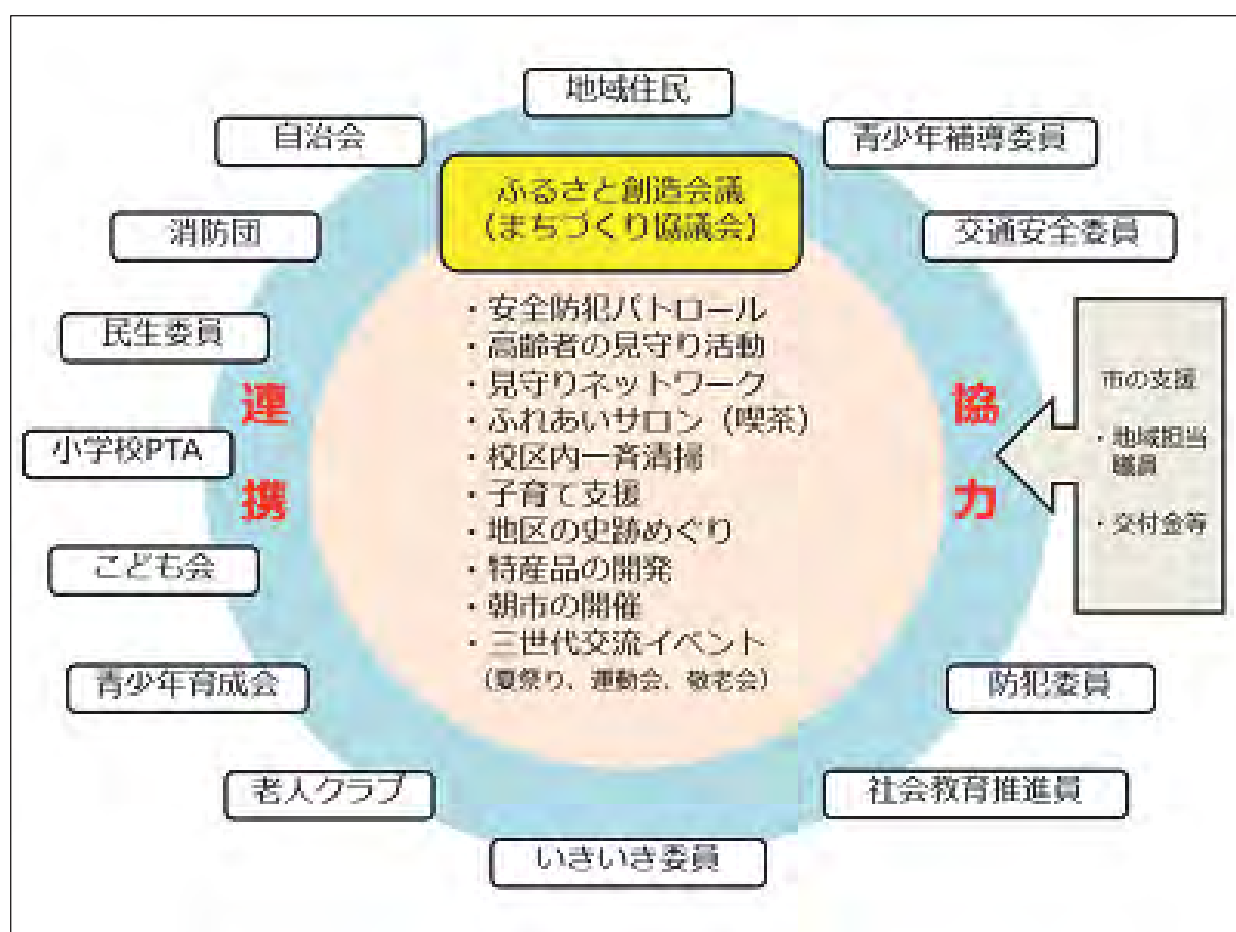
第1章 はじめに

ふるさと創造計画の位置付け

日吉地区では少子高齢化や人口減少、ライフスタイルの多様化により、地域の状況が大きく変化してきています。また、地域活動の担い手不足や高齢化などが進んでおり、今後、地域の課題は多様化・複雑化し、対応が難しくなると考えられます。

こうした中で、日吉地区を元気で魅力あふれる持続可能なまちにしていくためには、地域で活動している団体や住民が意見を出し合い、協働・連携して活動する必要があります。

日吉地区ふるさと創造会議では、地域のみんなでめざすまちの将来像と、その実現に向けた計画を、ここにまとめました。



▲ ふるさと創造会議（まちづくり協議会）のイメージ

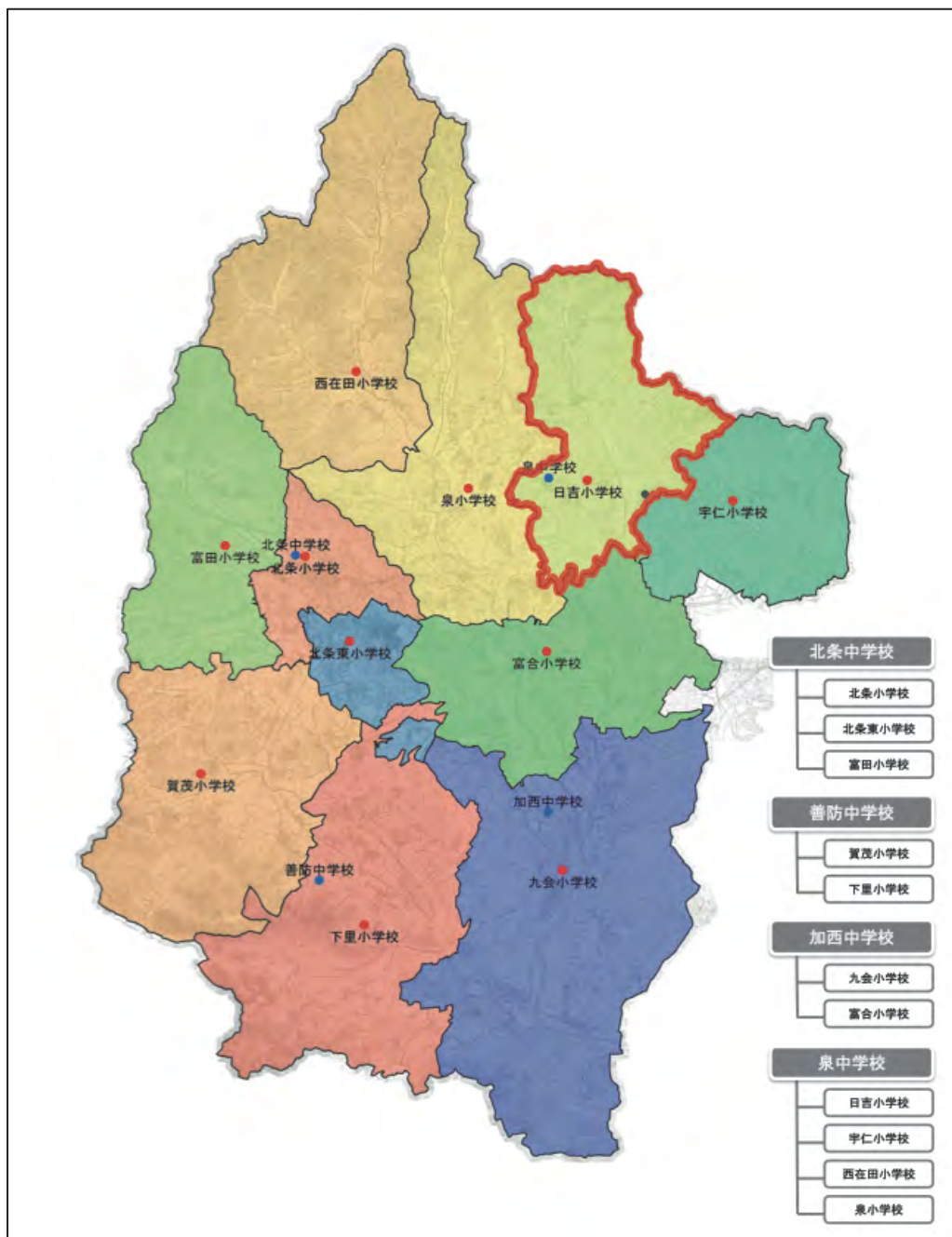
出典：加西市 市政 ふるさと創造会議

第2章 日吉地区の現況と課題

(1) 日吉地区の現況

i. 位置

日吉地区は加西市の北東部に位置しており、甲和泉町、乙和泉町、河内町、山田町、野上町、池上町、西野々町、島町、満久町、馬渡谷町、大工町の11町で構成される地区になります。加西市ではふるさと創造会議を、概ね小学校区を基本として構成しています。これは、お互いに顔がわかり、共通の話題が持てて、関係づくりが容易であること、地域活動の単位として歴史があり、地域住民に馴染みのある単位であるからです。日吉地区は日吉小学校校区に当たり、地区面積は約12平方キロメートルです。



▲ 加西市立学校 校区図

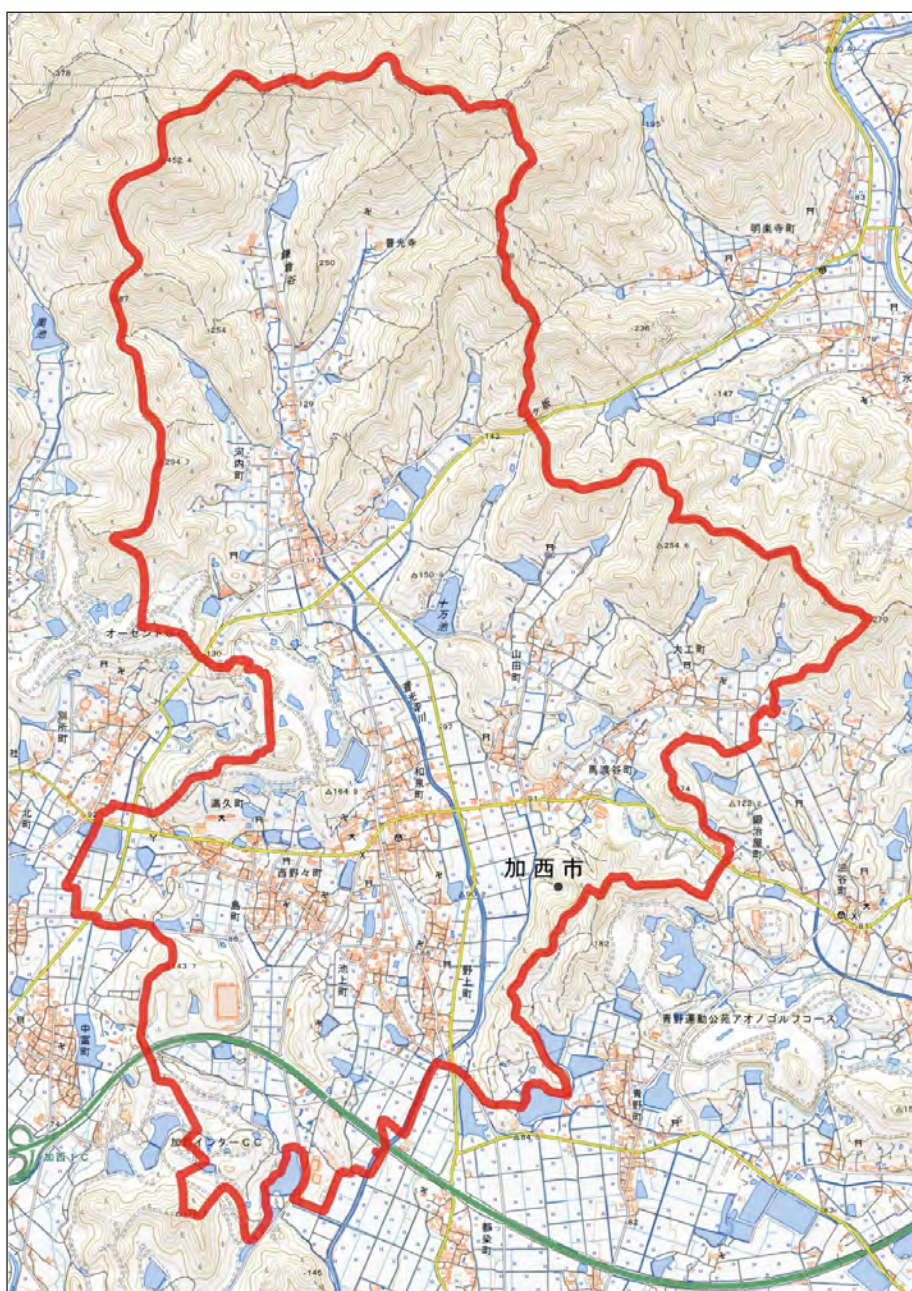
出典：加西市教育委員会 小学校・中学校の校区

ii. 地勢

日吉地区の北部には、古生層の山地（海拔 300～500 メートル）が連なり、中国山地の裾野を形成しています。そこを源とする普光寺川が地区内の中央を流れており、丘陵・段丘面を刻み沖積低地を形成しながら万願寺川に合流し、さらに加古川に合流しています。

市内で最も高い山である鎌倉山を望むことができ、周囲の山々の植生については、スギ、ヒノキなどが茂る山林が広がっています。また大都市近郊にありながら、日本の原風景といえる田園やため池、里山等が多く存在しており、豊かな自然環境にあります。

気候は瀬戸内式に属し、冬季の降水量は少なく温暖な気候です。水資源については点在するため池及び普光寺川等に依存していましたが、糶屋ダムの完成により永年の水不足は解消されました。

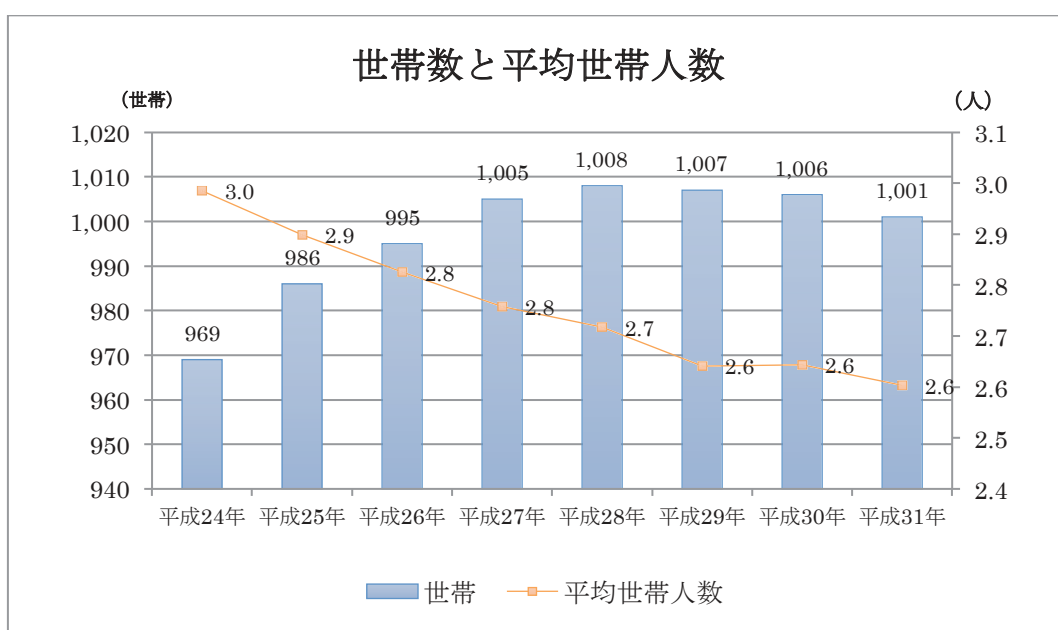
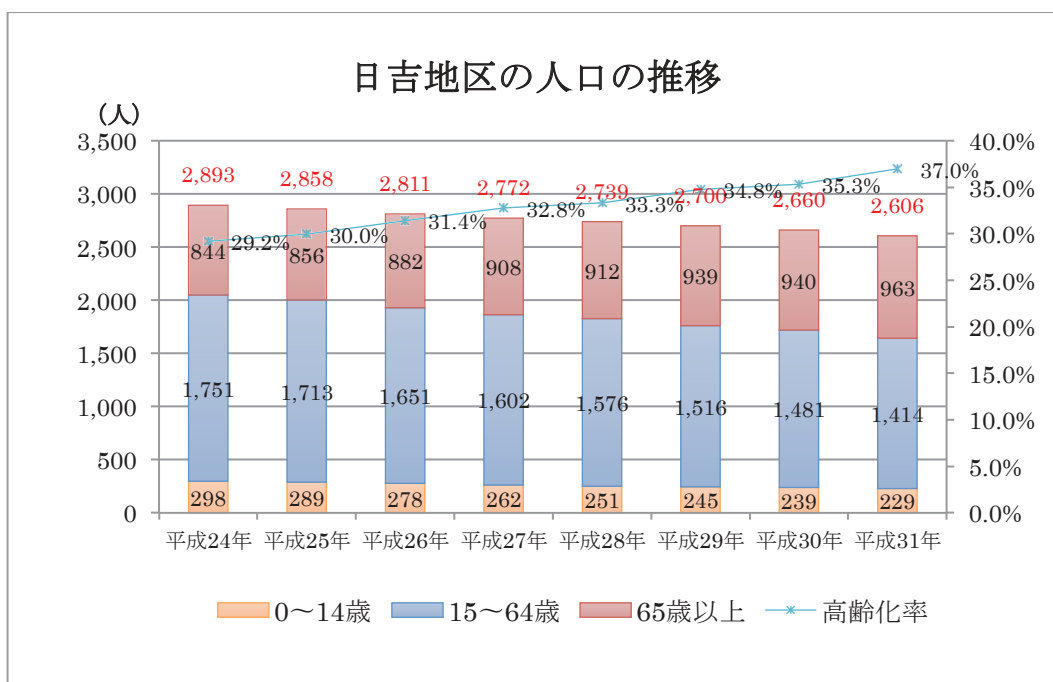


▲日吉地区 地形図

iii. 人口・世帯

平成 31 年時点における、日吉地区内の総人口は、2,606 人（男：1,242 人、女：1,364 人）です。また、0～14 歳の年少人口は 230 人、15～64 歳の生産年齢人口は 1,381、65 歳以上の老年人口は 958 人となっています。平成 24 年は、総人口 2,800 人以上でしたが、年々減少傾向しています。また、年少人口、生産年齢人口共に減少しているのに対し、老年人口は年々増加しており、平成 31 年時点の高齢化率は、37.3%で、高齢化が進行しています。

日吉地区の世帯数については、平成 28 年度までは増加傾向にありましたが、平成 28 年度以降は緩やかに減少しており、現在は 1,001 世帯です。平成 24 年では、平均世帯人数は約 3.0 人であったのに対し、平成 31 年には約 2.6 人まで減少しており、1 人暮らし世帯が増加している事が推察されます。



出典：加西市統計情報 町別毎月人口

iv. 交通

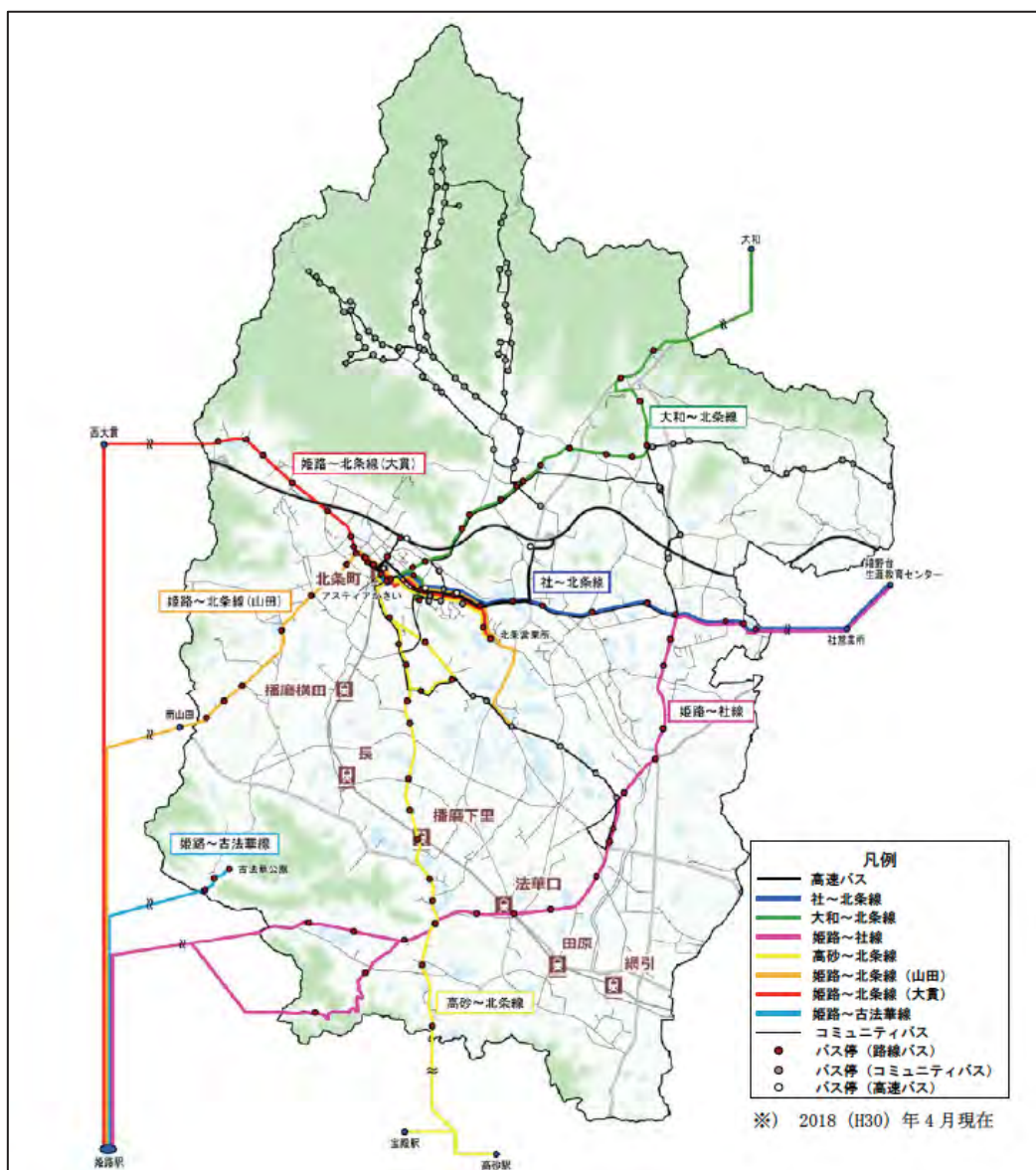
加西市には、鉄道、高速バス、路線バス、タクシー、コミュニティバス等の公共交通が運行しています。

鉄道は、北条地区から南東に北条鉄道が走っており、JR 加古川線と神戸電鉄粟生線に接続しています。所要時間は、神戸まで約1時間、大阪まで約1時間半です。日吉地区からは、北条鉄道北条町駅が最寄り駅です。

高速道路については、加西市の中央を横断する形で中国自動車道が走っており、加西インターチェンジが日吉地区の南端付近（加西市のほぼ中央）に位置しています。

また、中国自動車道等を運航する大阪・神戸・京都方面への高速バスがあり、加西市と隣接市町を結ぶ路線バス、北条町駅を中心に市内を運行するコミュニティバス、ねっぴ〜号と市北西部を運航するハッピーバスが日吉地区を走っています。

鉄道・バスが運行されていないエリアや時間帯など、鉄道・バスではカバーできない需要に対しては、タクシーが市民の移動手段としての役割を担っています。



▲ 加西市交通路線図

出典：平成30年3月 加西市地域公共交通形成計画

V. 地域資源

日吉地区には多様な地域資源があり、住民の視点から示されたものを p.32 にまとめています。ここでは、日吉地区を代表する主な資源を示します。

・ 鎌倉山

日吉地区北端には、奈良時代に編纂された日本最古の地誌である『播磨国風土記』にも記述された、市内で最も高い山である鎌倉山があり、かつての行者道が登山者向けハイキングコースに整備されています。



▲ 鎌倉山

・ 日吉神社

播磨国風土記に登場する大国主神・大物主神を御祭神とし、鎌倉山を御神体山として崇めています。日吉神社の神使は「猿」で、神猿と書いて「まさる」と呼び、「魔が去る」または「勝る」の意で魔除け棟の神徳があるといわれています。本殿には、「眼猿」「口猿」「耳猿」の珍しい彫刻が施されています。



▲ 日吉神社

・ 普光寺

蓬萊山普光寺は『播磨六山』の1つに名を連ねた古刹で、河内町にあります。参道を進むと、享保年間に造立された仁王像があり、このあたりから立ち並ぶ石造物は本堂まで続きます。本堂正面にそびえ立つ、高さ7m、重さ22トンの巨大な春日灯籠は、東洋一の大きさとも言われています。

周辺にはモリアオガエルやヒメハルゼミなど、希少ないきものの生息地となっています。



▲ 普光寺

・ 大日寺背面十字架地蔵

境内には、市指定文化財である大日寺石仏群が並んでいます。この石仏群の多くは、江戸時代の造立と考えられ、前から見る限りは普通の地蔵ですが、背面には十字架が刻まれており、キリシタン信仰に係るものと推察されます。



▲ 大日寺背面十字架地蔵

(2) 地区住民のまちづくりに対する意向

i. アンケート調査結果

日吉地区ふるさと創造会議ではまちづくり計画の策定に向けて、地域住民からの意見を伺うことを目的とした、全戸配布のまちづくりアンケートを実施いたしました。その集計結果を示します。(実施期間：令和元年5月～6月) また、今回実施したまちづくりアンケートと、平成26年度に実施した日吉ふるさとアンケートを比較し、地域住民の意識がどのように変化しているかについても示します。

実施期間：令和元年5月～6月

回収方法：各町の役員が回収

配布数：1,410 回収数：910 回収率：63.2%

日吉地区ふるさと創造アンケート

日吉地区ふるさと創造会議では、これまで「まちの将来像」や具体的な活動案について検討してまいりましたが、今年度からは、「まちづくり計画」の策定に向けた活動を進めて参ります。つきましては、地域住民のみなさまのご意見を伺いたく、アンケートを実施いたします。みなさまのご協力をお願いします。

☆回答締切：**令和元年6月12日(水)まで**

☆回収方法：**各町の役員が回収します。**

☆ご記入いただく方：各ご家族で**世代が異なる2名程度**

※多様な世代からのご意見をいただく考えであり、ご家族でご相談の上、可能であれば各程度のご記入をお願いします。なお、アンケート用紙が不足する場合は、各区分長さんにお問い合わせください。追加で配布いたします。

※特に指定のない場合、当てはまる数字1つに○印をつけてください。

問10 これからの日吉地区の地域づくりで、ご自身で、企画・運営に携わってみたいテーマや活動があれば、ご記入ください。

◎携わってみたいテーマや活動 _____

問11 日吉地区の地域づくりについて、ご意見があれば自由に記入ください。(ご意見) _____

問12 今後、ふるさと創造会議の活動に、ご参加をお願いできる方は、差し支えなければ、お名前と連絡先をご記入ください。

◎お名前： _____

◎ご連絡先(メールや電話番号)： _____

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

- 4 - - 1 - (次ページに続く)

問5 地域づくりについて、参加したいと思いませんか。

1 参加したい 2 条件や都合が合えば参加したい
3 どちらともいえない 4 参加したくない

問6 これからの地域づくりにおいて、重要だと思われる分野は何だと思いませんか。あてはまるもの3つに○印をつけてください。

1 観光振興	2 産業振興
3 福祉の充実	4 伝統・文化の継承、振興
5 農業の振興	6 生活基盤(道路・公園など)
7 防災対策の充実	8 地域住民の交流
9 子育て・教育支援	
10 その他(_____)	

問7 あなたが日吉地区にふさわしいとお考えになる「望ましい将来像」について、キーワードや考え方などをご記入ください。

(※平成30年度の検討過程では、「子どもが笑みあふれるまち」「若者が帰ってくるまち」「高齢者がいきいき活躍できるまち」「老後を楽しめるまち」「三世代の和のあるまち」「適度な田舎まち」などの案が示されましたので、参考にしてください)

◎望ましい将来像(キーワードや考え方)： _____

問8 ふるさと創造会議では、平成30年度に今後の活動について検討を進め、次表の6つのテーマとそれぞれに対応した活動例を整理しました。各テーマについて、どのようにお感じか教えてください。(表の当てはまるところに○印をつけてください。)

テーマと活動例	重要である	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
①地区内外への情報発信 <small>(活動例)</small> ・活動例チラシなどの紙媒体、掲示板やロボを活用した地区内への情報発信 ・インスタグラム等のSNSを活用した地区内外への情報発信					
②地区内の交流の促進 <small>(活動例)</small> ・子供園跡地の整備 ・子供園跡地を活用した交流イベントの開催					
③高齢者のいきいきした活動の促進 <small>(活動例)</small> ・高齢者の交流の場づくり ・地域イベント開催時の高齢者の対応					
④若者が帰って来やすい住環境づくり <small>(活動例)</small> ・子育て喫茶の開設 ・若者の活動や住み暮らしが容易になる工夫の検討と実践への啓発					
⑤観光の活性化 <small>(活動例)</small> ・観光通年博覧会の開催 ・自家産物産物マップの作成と配布					
⑥豊かな自然の守り育て <small>(活動例)</small> ・花見会の実施 ・観光客向けの整備に向けたホテルの生態に関する勉強会の開催					

問9 問8で示した案以外に、これからの日吉地区において重要だと思うテーマや活動があれば、ご記入ください。

◎重要だと思うテーマ： _____

- 2 - - 3 - (次ページに続く)

▲ アンケート用紙

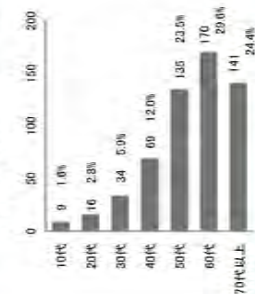
日吉ふるさとアンケート結果のご報告

回収率57.2%, 調査日26.10

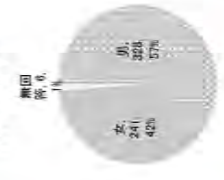
アンケートにご協力いただきましたおかげで、集計結果の概要をご報告いたします。結果を見てみると、地域づくりに関心がある(70%)は多いですが、福祉、生活基礎の整備、子育て・教育による地域づくりに期待が多く(関心)、具体的には交通手段の充実、通学安全対策、育児環境の充実を望まれています(関心)。活用したい地域資源は、日吉神社、鎌倉山、普光寺などです(関心)。こうした意識を活動につなげるために、日吉小学校区区長と町道会様にご挨拶をいたします。日吉地区全体での取り組みですが、今後、地域の方々にご協力をお願いすることもありますが、よろしくお願いをいたします。

平成27年1月1日 日吉地区区長兼

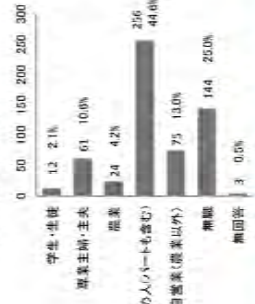
問1 年齢は?



問2 性別は?

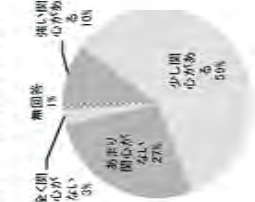


問3 仕事などは?

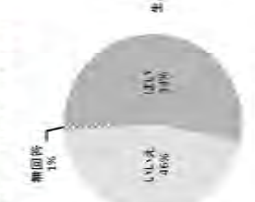


地域づくりへの関心

問4 地域づくりへの関心は?

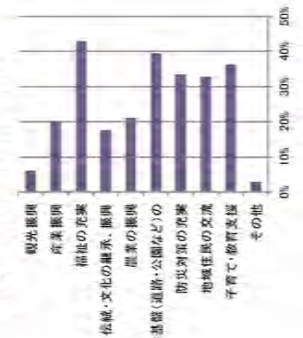


問5 地域づくりへの参加は?



今後に期待する地域づくり

問6 地域づくりに重要と思われる分野は?

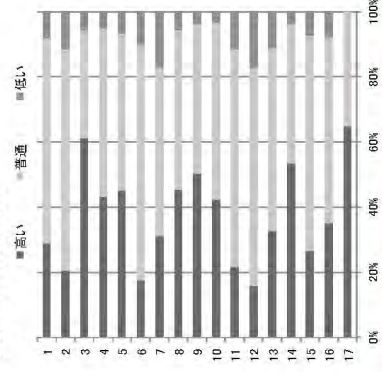


今後に期待する地域づくり

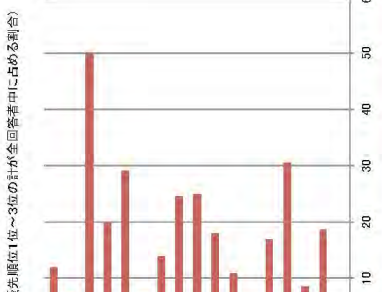
地域づくりの項目

- 1 水や緑の豊かな美しい生活空間、居住空間づくりを進める
- 2 誇りや愛着が持てる創発的な景観形成を進める
- 3 交通手段を充実し、買物、病院、福祉施設へのアクセスを良くする
- 4 自然体験や社会活動の場を提供し、子どもの豊かな心づくりを進める
- 5 高齢者や定年退職者が社会参加できる活動の場をつくる
- 6 地域内の女性や交流し社会参加できる活動を進める
- 7 空き家などの活用による、地域の再生を進める
- 8 台風や洪水の被害を防止、災害に強い地域づくりを進める
- 9 地域の中で、賢いやすい環境を整える
- 10 地域の人々が協力して地域の防犯対策を進める
- 11 地域の伝統・文化を継承し、歴史や地域性を活かした地域づくりを進める
- 12 地域間交流や観光交流を進めて、地域を活性化させる
- 13 地域産品を開発・活用した地域づくりなど、地域産業の活性化を進める
- 14 通学安全対策を充実させる
- 15 除雪物を減らし、再利用リサイクルの推進などを進める
- 16 健康に暮らし続けられる活動を進める
- 17 その他 (例) 地域づくり活動、スポーツ、ウォーキングなど

問7 地域づくり項目の必要性

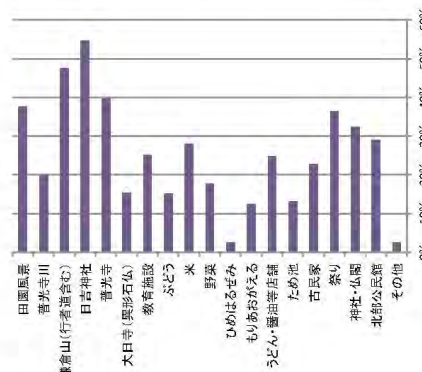


問8 特に重要な地域づくり項目



日吉地区の地域資源

問9 *ふるさとづくり*に活用したい地域資源



問11 あったらしい、こんなものや活動・行事

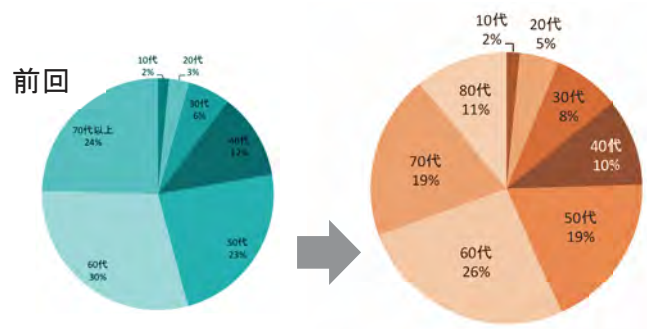


町名	地域資源
甲和泉町	カブト虫、クワガタ、十万池よりの田園風景及び二ヶ坂の朝もや、川沿いの桜並木、毛手の木、柿の木、風景、池の周りの草刈、満久城、根日女の湯の再利用(シム、沼泊等)施設、普光寺川沿いの桜並木、村の中の細い道、野上から野野にかけての城山
乙和泉町	岡の山地蔵、俳人の句碑、飯神社、戎神社の祭礼、地域でとれたものを中心にお惣菜を作り、空き家を利用して朝市のようなお店を作る、公民館を活用しての塾、大人の教室、田畑の貸出し
河内町	六ヶ坂のギンナンの木、鎌倉山の豊園、二ヶ坂のギンナンの木、普光寺の木
河内町	ホタル、ハチドリ祭り、おとう受け、オーセントにPGAツアーを誘致、天理教駐屯地と新しく設置された獣防柵の間にある大きな巨木、山林に生息する生物が多種、明石大橋が見える眺望、清流、多加野米山田舗
山田町	虚空蔵庵、薬師、忠魂碑、お宮、お壺、町づくり、れあい行事
野上町	耕作放棄地を賞農園に、大蔵神社の狛犬、大日寺背面十字架地蔵、日吉神社山王祭、野上町の暮の山(桜の季節、つじ等)、愛宕山
池上町	レノキョーでコンクリートをする、普同寺、腰おれ地蔵、大日寺、子供相撲大会
西野々町	六地藏、明光寺の十字のに入った墓
島町	八幡神社、旧公会堂
満久町	八幡神社、内藤家庭園、子供達と高齢者のふれあいの場、地産産の醤油等を使った創作レシピ屋台祭、休耕田の花畑、満久城、河内城、馬渡台の歴史、榎の木
馬渡谷町	山の整備、福れキリシタン地蔵、ハイオマス活用、薬師堂の仏像
大工町	-

平成26年度に実施したアンケートの結果報告

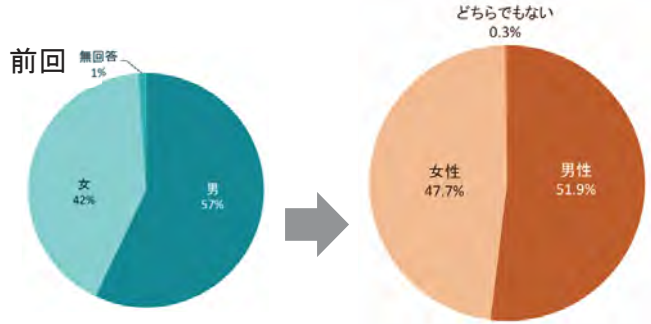
問1 あなたの年齢を教えてください。

「60代」の方が約3割、次いで「70代」、「50代」の方が約2割と続き、80代～10代と、幅広い年層の方にご回答頂きました。
 前回と比べて60代以上の方とともに、20代・30代の割合が増えています。



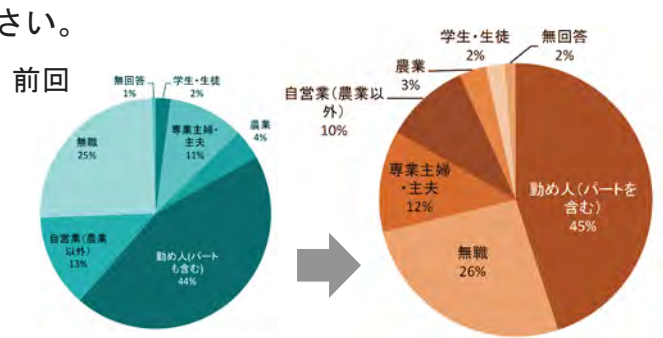
問2 あなたの性別を教えてください。

「男性」が52%、「女性」が48%、「どちらでもない」と回答された方が0.3%でした。
 前回と比べ、女性の割合が少し増えました。



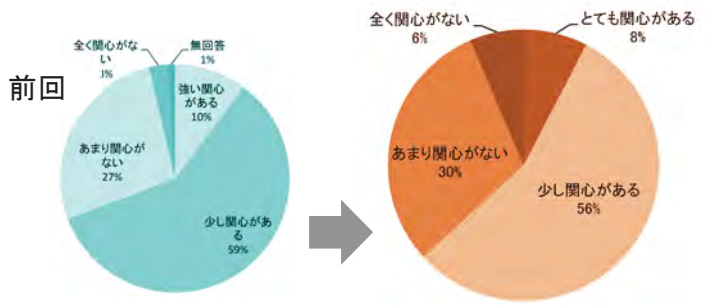
問3 あなたの現在のお仕事を教えてください。

「勤め人」の方が約半数。「無職」の方が約3割。次いで「専業主婦・主夫」「自営業」「自営業」「農業」「学生・生徒」の方にご回答頂きました。
 前回と比べ、大きな差異はありませんでした。



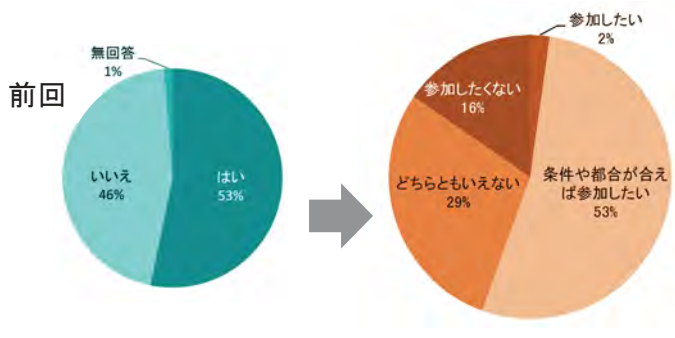
問4 地域づくりへの関心はございますか。

「少し関心がある」方は半数以上ですが、「とても関心がある」と回答された方は1割未満でした。また「あまり関心がない」方は3割で、「全く関心がない」と回答された方は1割未満でした。
 前回と比べ、若干関心は薄らいでいるようです。

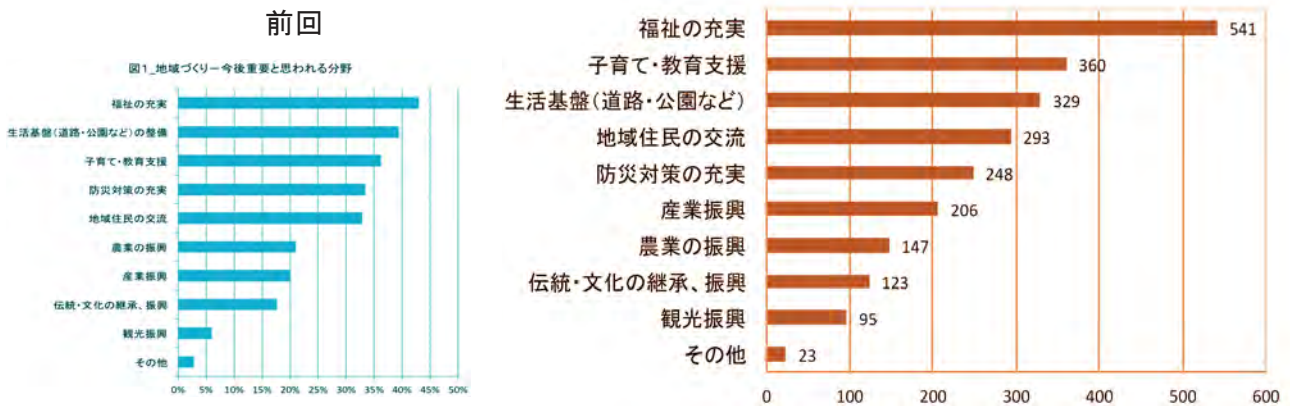


問5 地域づくりについて、参加したいと思いませんか。

「条件や都合が合えば参加したい」と回答された方が半数以上でしたが、「参加したい」と回答された方は極少数でした。「参加したくない」と回答された方は2割以下でした。
 前回からあまり変化はありませんが、「いいえ」の回答の中で「どちらともいえない」方が30%も占めることが分かりました。



問6 これからの地域づくりにおいて、重要だと思われる分野は何だと思えますか。あてはまるもの3つに○印をつけてください。



「福祉の充実」が重要だと考えられている方が非常に多く、次いで「子育て・教育支援」、「生活基盤」、「地域住民の交流」、「防災対策の充実」、「産業振興」と続きました。前回に比べ、「福祉の充実」が、多くの意見を集めるようになりました。

〈その他意見〉

- ・ 若者が住みたいと思える地域づくり。仕事と教育環境。
- ・ 新居建設等の補助、新居を作りやすい環境を作り人口増加を図る
- ・ 高齢化に伴う対策として車を使わない交通基盤の構築および休耕田の活用
- ・ 少子高齢化・過疎化対策
- ・ 免許証返納後の交通手段
- ・ 交通の便
- ・ コミュニティーバス（ねっぴーバス）路線の拡充して市民の足の確保する事
- ・ どの家にも田んぼがあるので、老後米作りができなくなってくるのは、どの家にも問題点としてあるし、営農として立ち上がれば良いが、どの町にもできることでもないの、どのようになるのか不安が募る
- ・ スポーツジム（健康重視の）
- ・ 地区の歴史等の勉強を通じて、地域が誇れる有形無形の資産を再発見して、住民がその価値を共有する。そしてそれをもって地区外へ魅力をPRする事が重要と思います。
- ・ 情報教育、国？世界の歴史について
- ・ 若年層の方の社会性（地域への参加意識の向上）を育む教育。60代以上や朝露草の人たちが各町行政文化しきりに固執して20～50代の人を強制したりするのではなく、逆に20～50代の人子どもや高齢者をリードして行って中心となって地域を守っていける環境整備。
- ・ 税金の使い方（無駄のない）
- ・ 異市町との交流（異市町の宣伝）
- ・ 今の問題を早く解消する事、例えば山林等の保全監理をどうするか？など
- ・ 自然環境
- ・ （道の駅）国道372号線に、たとえば丹波市のような「おばあさん里」のような大ききの道の駅
- ・ 商業(?)気軽に買い物に行ける店など
- ・ 空き家体験
- ・ 独居住まいが増えていると思いますが
- ・ 地区所有の空き家の民泊。日吉神社見学、普光寺見学とかいいな。あたご山登り。食事会。

問7 あなたが日吉地区にふさわしいとお考えになる「望ましい将来像」について、キーワードや考え方などをご記入ください。

数多くの提案を頂きましたが、テーマ別に整理すると、「老後に不安がなく、いきいきと楽しめるまち」「若者に魅力があり、住みやすいまち」「みんなが交流できるまち」に、特に多くのご意見が集まりました。

【老後に不安がなく、いきいきと楽しめるまち】

- ・ 老後を楽しめるまち (42)
- ・ 高齢者が孤独にならないまち (2)
- ・ 年をとり、車を手放しても困らない生活ができるまちづくり
- ・ 高齢者が住みやすいまち 老後、毎日買い物が便利なまち
- ・ 高齢者に配慮するまち
- ・ 老後が生きやすいまち
- ・ 高齢者が安心して生活できるまち
- ・ 老後、車を使わなくても生活できる環境の整備
- ・ 1人を見守っているまち。1人ぼっちにしない取り巻きのいるまちにしよう
- ・ おとなり同志が話合える (近所できない) えんりょなく出来る
- ・ 老後に不安のないまち。80才になっても安心して住める街に！福祉に力を入れて
- ・ 安心して暮らせるまち、田舎であっても孤立していないと思える 生活基盤と人との交流があること
- ・ 老後のコミュニケーション
- ・ 高齢者の交通手段今は元気で車に乗ることが出来るが、今後病院等に行く場合主要道路がある所はよいが乗り場が遠い時歩くことも難しくなるので心配
- ・ 高齢者が安全安心して暮らせるまち、高齢者対象の詐欺被害や高齢者による悲惨な交通事故が頻発している。高齢者に対する防犯、交通安全意識を啓発する必要がある。
- ・ 高齢者の通院、買物等の交通機関の充実
- ・ 高齢者がいきいき活躍できるまち (9)
- ・ 外出し、会話のできる場所 (茶話会、ちょっとした買物などができる場所づくり)
- ・ 高齢者が気軽に集い話合いのできるまち
- ・ 高齢者にやさしいまち (2)
- ・ 若者だけでなく働きたい高齢者をもっと働ける場所があればいい
- ・ 老後もときめくまち、いつまでも何かに感動していたいから一杯のみそ汁でも一輪の花でも幸せになれる
- ・ 高齢者が安心して暮らせるまち (2)

【若者に魅力があり、住みやすいまち】

- ・ 若者が帰ってくるまち (45)
- ・ 若者が住みやすいまち (8)
- ・ 若者が地元に残ってくれるまち。こどもが生き生き成長できるまち
- ・ 若者が市外にでないまち。日吉に生まれ日吉で育ち日吉で老後は孫達と！
- ・ 若者が移住したくなるまち (2)
- ・ 高齢者が自立できる町、高齢者の為にはではなく、若者が住みやすい環境をつくる。若者に何でも押しつけない。
- ・ 大学に行った子供達が帰ってきて仕事があり、結婚ができる地区になればとおもいます。
- ・ 若者が移住して来れる魅力あるまちづくり。
- ・ 農業に力を入れたい人の育成
- ・ 若者が生活できる町
- ・ 若者が自分の実家の土地に自由に家を建築できるような農業委員会の難しい規約をなくして住みやすい若者が帰ってこれるまち
- ・ 若い世代の人数をとりあえず増やすこと 40歳以下
- ・ 若い人が活躍できるまち
- ・ 若者が魅力的と感じられるまち
- ・ 若者が帰ってきて三世代が楽しめるまち
- ・ 若者に魅力のあるまち、生まれ育った故郷を気になりながらも都会で就職してしまう
- ・ 若者が住むまち、ベッドタウン (仕事は、高速バス (泉) 社町駅を利用) 化
- ・ 若者が移住出来るまちづくり
- ・ 若い世代に負担をかけないまちづくり
- ・ 若者が帰ってきて高齢者と一緒に活躍が出来る町
- ・ 若者が結婚に喜びを感じ、子育てに適したまちづくりに心がけてほしいです。
- ・ 若者が農作業を楽しんでいる姿を見られる町
- ・ 子育てがしやすい町 (7)

【みんなが交流できるまち】

- ・ 誰もが活躍できるまち。子ども、大人 (若者、老人) の誰もが意見を出し合える声掛けができる町
- ・ 子どもから高齢者まで、皆が馴染むまち。
- ・ 子供、高齢者を見守り、助け合えるまちづくり

- ・ まちぐるみで交流ができるまち
- ・ 世代間交流、全住民の顔が見える地域づくり。全住民が住みやすい地域づくり
- ・ 少子高齢化が進む中、三世代が助け合い生きがいのある地域になってほしい
- ・ ふれあい、きずなを大切に！家にこもりがちな年寄りが、どんどん外に出て誰とでも気軽に話せるまちづくり！
- ・ 交流の機会が大切
- ・ ふれあいの場大きな運動公園を作り、三世代が顔を合わせる場を作る
- ・ 異年齢間交流
- ・ 町の中心となる公共スペース、地域の人々が自然と日々集まり、つながりや交流がもてる場所があるまち
- ・ 他世代の交流。同世代の交流。
- ・ 住民がなかよし
- ・ 町全体が疎遠になり、ご近所のことも分からないのが現状です。町で集まることもなく、高齢者ばかり増えて、活性がないのは事実です。気軽に参加できる事があればよいかと思えます

【三世代の和のあるまち】

- ・ 三世代の和のあるまち（14）
- ・ 三世代「力強く生きる」町。令和の時代はそれぞれの世代がいきいきと生活できる、環境と仕組みづくりが大切
- ・ 三世代がふれあうまち
- ・ 3世代のいきいきしたまち
- ・ 三世代が暮らせるまち
- ・ 三世代の和が深く色んな人が「住みたい」と思えるまち
- ・ 三世代が仲良く楽しく集まれる地区（2）
- ・ 3世代の交流をして子供たちを見守るまち
- ・ 若者が帰ってきて三世代がいきいきしたまち
- ・ 三世代が仲良く楽しく暮らせるまち
- ・ 三世代が触れ合えるイベント（お祭り等）を活性化したらどうか
- ・ 三世代交流、日吉地区住民の交流が大切と思う。
- ・ 子ども・若者・高齢者が安心して暮らせるまち
- ・ 3世代が住みよいまち。大企業等働く場のあるまち。
- ・ 3世代で住みやすいまち（3）
- ・ 三世代の交流のあるまち作り
- ・ 大企業等働く場のあるまち。
- ・ 子どもが安心して過ごせ、どの世代の人も楽しめるまち

【子育てがしやすく、子どもが増えるまち】

- ・ 子どもが増えるまち（4）
- ・ 子どもの声が聞こえるまち
- ・ 子どもの姿が見えるまち（9）
- ・ 子どもの声、姿が見えるまち（2）
- ・ 子供達の元気な姿が見えるまち
- ・ 子供が安心して過ごせるまち（5）
- ・ 子どもがのびのびと育つまち
- ・ 若者や子供が増えるまちづくり。市外に家を建てなくても町内で住みやすくする。新宅が出来ない。

【適度に便利で快適な田舎まち】

- ・ 適度な田舎まち（16）
- ・ 便利な田舎まち（3）
- ・ 快適な田舎暮らし
- ・ 田舎の良さが実感できる街づくり
- ・ ふるさと、里山という言葉が似合うまち
- ・ 鳥のさえずりがきこえるまち
- ・ 自然と共生するまち（2）
- ・ 山と川を生かした田舎ならではの風景を活かす
- ・ 生き物の住みやすいまち、緑と自然を残し人間だけが住みやすくない様にする事を考える。

【交通の便がよいまち】

- ・ 交通の便がよいまち（2）
- ・ 交通手段が便利な街
- ・ 交通手段の発達（免許がなくても困らない交通手段）

- ・ アクセスが便利なまち
- ・ 交通機関の充実
- ・ 病院や市内へのアクセス
- ・ 交通、買い物 高齢者も安心して暮らせるまち
- ・ 自動車がなくても生活できるようになれば・・・例えば、バスや電車の運行など
- ・ 公共交通網の向上
- ・ 交通事故がなくなる見やすい道
- ・ 大阪や神戸のように、コミュニティーバスの路線網を拡充させて免許を返納したお年寄りなど市民の足をサポートしていく社会

【安全安心なまち】

- ・ 安全・安心・住みやすい地域
- ・ 安全安心なまち（２）
- ・ 子どもから高齢者が安心して暮らせる町（２）
- ・ 子供の安全
- ・ 高齢者・子供が安心して住める町。保育・幼稚園・高齢者対応住宅の誘致を行い子供から介護の必要の老人まで他に行かず過ごせる街になる
- ・ 安心して暮らせる町（２）
- ・ 子どもから子育て世代、高齢者まで全ての人が安心して、いきいきと活躍できる町
- ・ 子供達が元気にかつ、安全に過ごせる町

【その他の意見】

- ・ 日吉小学校各学年２クラス化を目指そう！日吉小学校のグラウンドを芝生化して、サッカー、グラウンドゴルフが芝生の上でできるようにしよう。（芝生の管理は大変ですが…青野リゾートにノウハウを聞いてみてはどうか）
- ・ 伝統・文化は大切であるが、地域や町の不合理なしきたりに縛られるあまり、息苦しくなることがある。まとまりを大切にしながらも、ひとりひとりの意見が活かされるまちづくりを望む。
- ・ 地域活動に縛られない生き方（市の施策は間違っている）
- ・ 偏見のない、笑顔があふれる街。

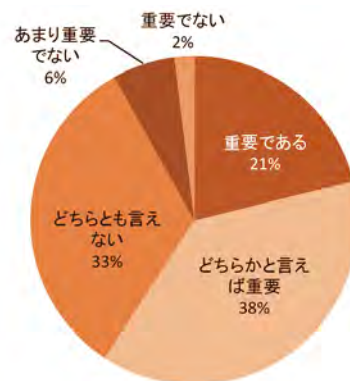
問 8 ふるさと創造会議では、平成 30 年度に今後の活動について検討を進め、次表の 6 つのテーマとそれぞれに対応した活動例を整理しました。各テーマについて、どのようにお感じか教えてください。

① 地区内外への情報発信

(活動例)

- ・ チラシなどの紙媒体、掲示板や口コミを活用した地区内への情報発信
- ・ インスタグラム等の SNS を活用しラ地区外への情報発信

「重要である」、「どちらかと言えば重要」と考える方が約 6 割でした。「重要でない」、「あまり重要でない」と考える方は 1 割未満と少数でした。

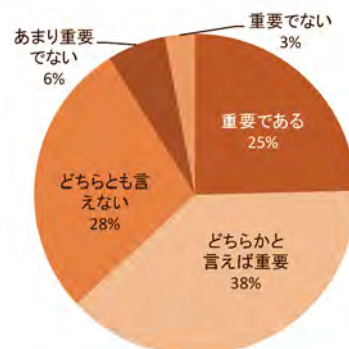


② 地区内の交流の促進

(活動例)

- ・ 幼稚園跡地の整備
- ・ 幼稚園跡地を活用した交流
- ・ イベントの開催

「重要である」、「どちらかと言えば重要」と考えられている方が 6 割以上でした。「重要でない」、「あまり重要でない」と考える方は 1 割未満と少数でした。

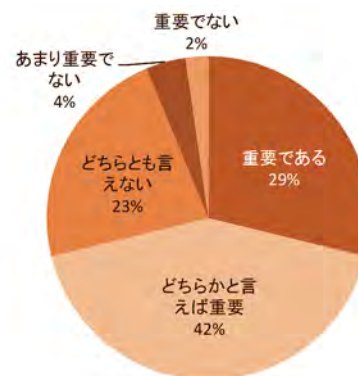


③ 高齢者のいきいきした活動の促進

(活動例)

- ・ 高齢者の交流の場づくり
- ・ 地域イベント開催時の高齢者の送迎

「重要である」、「どちらかと言えば重要」と考えられている方が 7 割以上でした。「重要でない」、「あまり重要でない」と考える方は 1 割未満と少数でした。

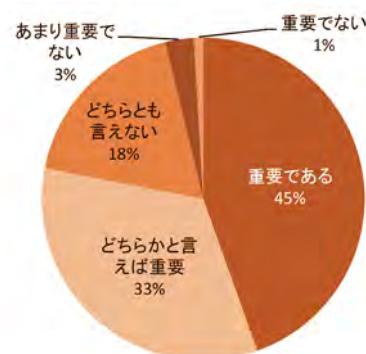


④ 若者が帰ってきやすい仕組みづくり

(活動例)

- ・ 子育て喫茶の開設
- ・ 若者の通勤や住宅購入が容易になる工夫の検討と行政への提案

「重要である」、「どちらかと言えば重要」と考えられている方が約 8 割でした。「重要でない」、「あまり重要でない」と考える方は極少数でした。

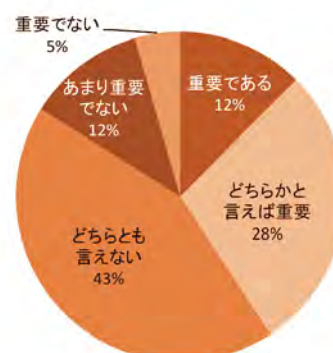


⑤ 観光の活性化

(活動例)

- ・ 富家通り博覧会の開催
- ・ 日吉名所巡りマップの作成と配布

「重要である」、「どちらかと言えば重要」と考える方が 4 割でした。同じく「どちらとも言えない」と考える方は約 4 割で、「重要でない」、「あまり重要でない」と考える方は約 2 割でした。

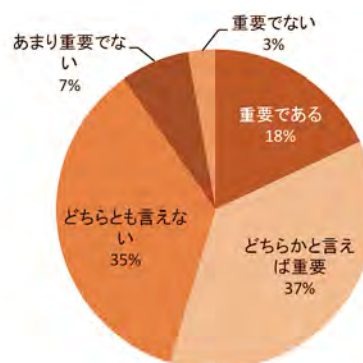


⑥ 豊かな自然を守り育てる

(活動例)

- ・ 花見会の実施
- ・ 普光寺川での繁殖に向けたホタルの生体に関する勉強会の開催

「重要である」、「どちらかと言えば重要」と考える方が約 6 割でした。「重要でない」、「あまり重要でない」と考える方は 1 割でした。



以上の事から、6つのテーマについては「観光の活性化」以外は、過半数以上から「重要である」「どちらかと言えば重要」と回答頂きました。また、全てのテーマについて「重要でない」「あまり重要でない」と考えるのは、少数な事が分かりました。

問9 問8で示した案以外に、これからの日吉地区において重要だと思うテーマや活動があれば、ご記入ください。

数多くの提案を頂きましたが、テーマ別に整理すると、「地区内のつながりづくり」「高齢者が住み良く活躍できる場づくり」「若者を呼びこみ定住させる」に、特に多くのご意見が集まりました。

【地区内のつながりづくり】

- ・ 子どもから高齢者まで世代をこえて交流し、各自の役割や生きがいを認識、尊重できる地域であること
- ・ 校区の交流 誰もが参加できるイベントなどを通じ交流を深める
- ・ 交流が少ないのもう少し、具体的には？
- ・ 地区に住む人同志 顔なじみになること
- ・ 人とのつながり、交流
- ・ 人と人とのふれあい交流会等
- ・ 町の役職にこだわらず自由に参加できるイベント
- ・ コミュニケーションを通じた暖かな人間関係の構築を目指してニーズに応じた息の長い活動の実践
- ・ 地区内の交流の促進
- ・ 地区内の交流の促進、例えば花見会、運動会の開催。
- ・ 三世参加型の行事を増やす（各町が元気になる様に！）
- ・ スポーツ、芸術、農等 各分野毎のイベント等の交流の場
- ・ 各町対抗の何かイベント
- ・ 交流の場については、幼稚園跡だけでは人が集まりにくいと思う。各町の公民館を順番に周り、交流する人を増やすようにしてはどうか。
- ・ 交流
- ・ 世代を超えた交流が重要
- ・ 地区内の交流の促進
- ・ 10代後半～30代の人の町行事や寄り合い、ミーティング等への積極的な参加（町行事に上記の年齢層の人の参加が極めて少ない事の改善）
- ・ 地域交流（その為には、交通アクセス）それぞれの地区事業はあると思いますが、どうするか（日吉地区のみの交通）日吉地区の交流には足も必要ですが、他人との付き合いをしたくない人も多くあると思います。それを、どの様に少し人数でも集合出来るか悩みの種であります。
- ・ みんなが楽しくできること
- ・ 三世交流や若者が興味ある内容
- ・ 地区内交流の促進
- ・ 食堂・喫茶店の紹介
- ・ 一人暮らしの人が増えるように思います。 気軽に行くことができる場所があればと思う。
- ・ お祭りや盆おどり
- ・ 煩わしくない程度の近所付き合い

【高齢者が住み良く活躍できる場づくり】

- ・ 高齢者が楽に暮らせるまち
- ・ 高齢者がいきいき活躍できるまち（4）
- ・ 車に乗れない高齢者も遠出、買い物、遊びを楽しめるようにバスなどの充実
- ・ 老後を楽しめる町（6）
- ・ 高齢者が住みやすい町
- ・ 高齢者の住みやすいまち 農業に未来がみえるまち
- ・ 老後、心身ともに生き生きと生活していくための講演会などあれば参加してみたい。
- ・ 高齢者の運転免許返納後の公共交通機関利用について、民間業者と連携しバスやタクシー等を割安で利用できるサービスが必要
- ・ 高齢者の運転免許返納後の交通機関（バスやタクシー等が割安で利用できるサービス）
- ・ 高齢者の移手段の確保
- ・ 高齢者の見守り活動
- ・ 老人の交流、子育て支援（見守り）
- ・ 高齢化、独居化に向き合える見守り制度の充実
- ・ 高齢者の交流の場所作り
- ・ 老人が住みよいまち（若者も）
- ・ 高齢化対策（老害、老コストも含む）

- ・ 老後を楽しめるまちづくり
- ・ 高齢者がいきいき活動の推進。ゲートボール大会（子どもとチーム）流し素麺
- ・ 高齢者の集い
- ・ 高齢者のいきいきした活動の促進（活動例）について～このような高いレベルではなく、高齢者の通院、買物等の足の確保など、日常生活に不可欠な内容について考えて欲しい。
- ・ 昨今話題となっている高齢ドライバー対策
- ・ 車の運転が出来なくなったら、対応できるものを考えて下さい。
- ・ 免許返納した場合の移動手段を考えてほしい。車での移動販売、ネットの買い物とその日に届く

【若者を呼びこみ定住させる】

- ・ 若者が帰ってくるまち（6）
- ・ 若い人が定着してくれることが一番。それには何をすべきか？
- ・ 若者が過ごしやすいまち
- ・ 若者が帰って来る町。適度な田舎町
- ・ 若者が地区に定住できやすくすること
- ・ 若者の流出をへらす
- ・ 子育て世代を地域に迎え入れる活動。A, SNS 等による地区の PR。B, 年寄り世代の子育て相談。C, 地区内若者の婚活サポート（集団お見合いなど）D, 市街化町域の緩和の拡大。E, 空き家バンク。F, 行政との連携。G, 貸し農園（遊休田）
- ・ 若者が移住するまち
- ・ ④若者が帰って来やすい仕組みづくりについて～地区の活動ではなく、市の仕事だと思う。市にはたらきかけてほしい。
- ・ 人口 44271 人口減少を受け止める。最低 50000 人必要 若者が働く場所が必要
- ・ 地域人口が少なくなり、高齢化が多くなるためには、若者が帰って来る様な環境が必要と思う
- ・ これから、そして今の社会を創るために若者が住みつく仕組みが必要
- ・ 若い世代が日吉地区に残ってくれて、活躍できる環境の整備。
- ・ 本来は、市役所の業務ですが、なぜ、他の市から加西に通勤している人が多いのかを調査する。（なぜ、加西に住まないのか？）

【高齢になっても移動がしやすい仕組みづくり】

- ・ ドラッグストアや他の商店、医院等、北条に集中していて、日吉地区は、不便な点があり、高齢者化に対応して市のバス等もありますが、車の運転ができなくなった場合の対応。高齢者に限らず子供にもあいさつ、声掛けを積極的にして和のある町になったらいいと思います。
- ・ とにかくマイカー以外の足がない、タクシーも夜中はない！
- ・ 加西市の北条地区は、一応何でもお店や市役所夜の他の施設が充実しているが、その他のところはほとんど車に頼らなければ生活できない地域が主です。北条地区は便利が良くなり、生活に困らないと思いますが、その他地域は車に乗れなくなったら生活に支障をきたすようなところが多いと思います。のどかで静かな町は、何年暮らしても少しも便利にはならず、税金は何に使われているのかと不安になります。
- ・ ドッグラン、定期バス（高齢者のための）

【農業の活性化・耕作放棄地の活用】

- ・ 農業の活性化。
- ・ 農業をどうやって収入が安定する仕事にできるか？ 市・国からのほじょではなく。
- ・ 田んぼの活用法。都会の人のコメ作り体験、貸し農園
- ・ 日吉地区は調整区域のため田んぼをつぶせないの、田んぼを利用した産業はないのか。若者の田舎離れは、止めることが出来ないの、よそにない観光で人に来てもらう事が出来るようになればと思う。
- ・ フリーマーケット（野菜・花など）
- ・ （新鮮野菜と自家製米）地産地消の食事会をしてほしい、バランスのとれた食事のしかた
- ・ 農産物等の進行、促進。交流場所などでの販売など
- ・ 新たな産業づくり
- ・ 増加する放任地に対する対策

【公共交通、道路網の充実】

- ・ 交通安全 大きな道路整備でなく、住宅廻り、田んぼ付近など
- ・ 交通の便利さ（バス等の回数を多くする）
- ・ 地理的に生活が不便である→利便性の確保
- ・ 市川たきの線（多可野農協から山田町内に入る所）を子供達が通学するのに危なくないように 1 日も早く広げてほしい。

- ・ 現在、歩道が一部しかないので、安心してゴミ出し、町の配り物等が出来るように整備してほしい
- ・ 公共交通の充実。のりあいタクシー等住民の足の確保。安全な道路。
- ・ 交通安全
- ・ ウォーキング道路の整備

【空き家の対策】

- ・ 空き家、放棄田対策
- ・ 空き家の活用、解体推進 ほとんどが大学進学、その後、遠方に就職、地元に戻ってこない為、空き家増。古い行事、祭りごと、役員等にしばられる。息苦しい。田舎暮らしが嫌われている。一度帰省しても数年で他の市へ出て行く実例が近年の傾向である。空き家は、倒壊及び野生動物の住み家になる等危険である。
- ・ 建築についての企画
- ・ 地域住民の農家住宅自由化。農振地除外申請の自由化。創造会議で認定する仕組み。
- ・ 高齢者が家庭の農業の行方を考えて頂きたい。空家がこれ以上増えない方法はないのでしょうか。

【産業振興と雇用の確保】

- ・ 通勤通学に多少時間がかかっても住み続けたいと思うまちづくり
- ・ 工場の誘致・山の利用
- ・ 産業の活性化
- ・ 産業振興
- ・ 加西市内の職場の増加。近隣市外に働きに出ている者が多いと思います。
- ・ 働く場所があふれている
- ・ 郊外に企業が多くあり地元に住んで地域を支援する若者が多く生活するまち
- ・ 働ける所があるまちづくり（企業）。
- ・ 若者の帰って来やすい、町づくり、転職の心配がないよう企業を誘致
- ・ 若者の雇用確保
- ・ 若者の就労確保・農業従事者・林業従事者の活性化

【子育て・教育環境の充実】

- ・ 子供が安心して遊べるまち
- ・ 子供の声が聞こえる町
- ・ 子宝のまち、笑顔のまち
- ・ 子供の姿が見えるまち
- ・ 子どもの教育レベルの向上。無償講師による英会話レッスン
- ・ 小学校のあり方について
- ・ 子育てしやすいまち
- ・ 子育ての充実
- ・ スクールバスによる安全な通学
- ・ 一般教育（学校教育）・生涯教育
- ・ 子供の教育を推進する。老人がぼけない工夫を行っているまち。

【少子化・高齢化対策】

- ・ 日吉校区 740 戸をどうやって増やすか
- ・ 限界集落対策
- ・ 少子化、農業、高齢化
- ・ 少子化対策
- ・ 人口増加
- ・ 人口の維持をどうすればよいか。

【安心安全なまちづくり】

- ・ 防犯
- ・ 防犯と防災対策
- ・ 安全で住みやすいまち
- ・ みんなが安心して安全にすむことができる田舎まち

【福祉の充実】

- ・ 福祉に関してもしっかき目を向けて欲しい！
- ・ 社会保障の充実
- ・ 介護がしやすい仕組みづくり

【その他の意見】

- ・ いきいきした地域づくり
- ・ 活気あふれるまち

- ・ 生まれて死ぬまで、普通の生活ができる環境
- ・ だれもが元気な田舎
- ・ やさしい田舎
- ・ 持続可能な田舎暮らし
- ・ 観光客が良いと思える
- ・ イベントで終わらせない、根付く活動自然な流れ、古いものの存続から新しいものへ
- ・ 人や物質が行きかえす他地域とのつながり（田舎でも都会でも）
- ・ 地元民とよそから来た人の付き合い方
- ・ 活動は束縛につながるのではないか、今続いている秋祭り学校行事への参加(運動会、体育祭)町内の行事だけでもよいと思います。
- ・ 婦人会、老人会、老人会等の役員の負担を増やすような活動はなくしてほしい。役員にばかり仕事が増える、家族とのふれあいの時間も大事である。やりたい人がやればよい。
- ・ 地域の維持管理が出来ること
- ・ 住民が労役をしなくても自立運営される社会
- ・ 各人得意性を発揮させる
- ・ 情報開示
- ・ 新しい住宅地
- ・ 地域を支える意欲を持った人を育てる人づくり。若者・高齢者関係なく。
- ・ 移住者の促進
- ・ 店舗の充実（校区外に出ないと食料品他の買い物ができない。車が不可欠である。）
- ・ 人と文化と調合し人が集まる場所日吉
- ・ コンビニをつくる

※（ ）内は、同意見の件数

問 10 これからの日吉地区の地域づくりで、ご自身で、企画・運営に携わってみたいテーマや活動があれば、ご記入ください。

数多くの提案を頂きましたが、テーマ別に整理すると、「地区交流・イベントの企画」「ホタルの育成・自然環境の整備」「高齢者の生活支援」に、特に多くのご意見が集まりました。

【地区交流・イベントの企画】

- ・ 料理教室、体操（簡単な）（60代女性、自営業）
- ・ 地域区内の交流の促進。幼稚園跡での交流（60代女性、専業主婦）
- ・ 野外の映画等、沢山の人が参加しやすい活動。（60代男性、農業）
- ・ 日吉地区の住民の方で趣味・特技又は知識のある方は、教室を開く様な行事の計画もあれば（70代男性、無職）
- ・ 音楽（コーラス・楽器の演奏等）（50代女性、勤め人）
- ・ 博物館や美術館と連携したワークショップ（50代男性、勤め人）
- ・ 日吉小学校でゲートボール大会。（世代は関係なく、参加して楽しむ）（50代男性、勤め人）
- ・ 古民家をリノベーションし、住民の交流ができる活動（50代女性、勤め人）
- ・ 各方面の活動の活性化は望ましいが、そのために増える行事へのスタッフの強制参加(村役員、学校役員)の負担増は地域づくりに反比例すると思われます。（50代男性、勤め人）
- ・ 町おこしのなフリーマーケットの開催（50代女性、勤め人）
- ・ 先日、蛍鑑賞に参加したのですが、誰でも参加できるイベントを増やして欲しいです。（50代男性、勤め人）
- ・ 行事をなくすこと（50代男性、無職）
- ・ 持ち寄り図書館・カフェ。（50代男性、無職）
- ・ 特産品（50代男性、勤め人）

【ホタルの育成・自然環境の整備】

- ・ ホタルの放流（50代女性、専業主婦）
- ・ ホタルを増やす。老人と子供の交流、花を植える（50代男性、勤め人）
- ・ 花いっぱい運動（50代女性、専業主婦）
- ・ 善光寺川の土砂堆積が気になっています。行政に働きかける等、環境整備が必要だと思いました。（50代男性、勤め人）
- ・ 自然を保護、森林を保全する活動や、有機農業に関する取り組み（50代女性、勤め人）

- ・ ホタルの生態（50代男性、自営業）

【高齢者の生活支援】

- ・ どの地域においても高齢化しており、住みやすく孤立にならない取り組みが必須だと感じます。（60代女性、勤め人）
- ・ 高齢化することで、自動車免許返納による交通弱者への支援の企画（60代男性、勤め人）
- ・ 高齢者が働ける職場作り（60代女性、専業主婦）
- ・ 高齢者の健康づくり（70代男性、勤め人）
- ・ 老後を楽しめるまちづくり（50代男性、無職）
- ・ 地域のコミュニティバスの運行（50代男性、勤め人）

【歴史資源の調査・発信】

- ・ 【日吉地区の背面十字架地蔵調査】「自分たちの地域しかないものは何か」を見つけ出し、他地域に負けないものを築き上げることが問われていると思います。地域の伝統文化を活用し、お年寄りから子どもまで交流できる活動を促進して行ったらどうでしょうか。（70代男性、勤め人）
- ・ 日吉地区にも世界遺産をつくる（50代男性、農業）
- ・ 地域の歴史の発信（50代男性、自営業）

【子育て環境づくり】

- ・ 見守り隊（通学）子供が安心して通学できる環境づくり（70代男性、無職）
- ・ 子育て（50代男性、勤め人）
- ・ 子育て教育支援 産業振興（50代男性、自営業）

【その他】

- ・ 福祉の方で関わってみたいです。（40代女性、自営業）
- ・ 働く所（50代男性、農業）
- ・ 若い世代は共働き（子供を預けて）子育て世代はかなり毎日忙しく、土曜日日曜日といえども子供会町内行事もあり（消防も含め）家族揃って楽しく活動する日も少ないのではないのでしょうか。老人会婦人会もなくなりましたが若い世代が町内から便利な近郊に移りますます寂しくなっていく気がします。田畑の草刈りも高齢になればかなり主になってきます。若い世代が住んでみたいと思える町づくり考えないといけないと思うこの頃です。家も建てられない土地も考えもの（50代女性）

問 11 日吉地区の地域づくりについて、ご意見があれば自由にご記入ください。

数多くの提案を頂きましたが、テーマ別に整理すると、「三世代の交流促進」「行事の合理化」「農地を守る取り組み」に、特に多くのご意見が集まりました。

【三世代の交流促進】

- ・ 三世代の交流の場を多く作ってほしい。
- ・ 三世代で交流できるものがあれば良いと思うが、あまり負担のない程度で
- ・ 子供から高齢者まで参加交流できる行事で継続していく事が重要。多加野地区はつらつ委員会主催の三世代交流事業のような催しに期待しています。
- ・ 山田地区では、平成10年頃（はっきりした記憶ではないです。もう少し前かも）町内運動会と納涼まつりが交互に行われていて、町の中のふれあい行事がありましたが、マンネリ化し行事の準備計画など時間も費やすので、どちらも町の行事がなくなりました。それ以来、年に一度3世代交流の行事があるぐらいです。まちのが活性しないと、日吉地区の地域作りも活性市内のではと思います。
- ・ 現在、高齢者が増加しています。高齢者の見守りや、世代間交流も大切です。しかし、将来的なことや税収、町の活性化を考えると、若者を呼び込まなければ年寄りばかりでは衰退するばかりです。そういったことに税金を投入するべきです。
- ・ 夏休みに親・子・孫で体操
- ・ 本当に子ども数が減りましたね。だからこそ、「あすこそ運動」（あ・あいさつ す・素直な返事 こ・ことばづかい そ・掃除）の取り組みを地域あげて今以上にすべき。基本的生活習慣の定着を目指し「あすこそ運動」を実践できる子どもの育成、心の落ち着けるあたたかい家庭づくりを目指す為の支援が求められていると思います。

【行事の合理化】

- ・ 田舎の自然は魅力的だが、町の付き合いや古いしきたりを煩わしく感じる者が多くいる。それが若者の流出につながっているということを考えてもらいたい。行事参加の強制なども嫌がる要員です。
- ・ みんなが気楽に参加できる体制にして欲しい

- ・ 行事やサークルなど活動をなくす
- ・ しかたなく、役だから、やめられない、という理由で何年も変わらない事業が多すぎると思う。いろんなことをやっても良いが続けられるものを。続けられないものはすぐにやめる。
- ・ 役所目線でのアイデアは本当に迷惑です。自分に残された時間を自由に使いたいと考える人は多いと思います。集団行動はしんどいです。
- ・ コミュニケーションをとる様な活動ばかりで、もっと生活面で便利にして欲しい
- ・ 季節毎に行事を行う事も必要ですが、日常生活が楽しく出来るように地域を支援していく事が大切だと思います。

【農地を守る取り組み】

- ・ 農業や林業の体験活動などを取り入れて、田舎での生活を体験してもらうことでアピール
- ・ 高齢化で農業継続が大変という声を聞く、田んぼの耕地処理ができてない所を何とかしたら、作りやすくなるのでは？
- ・ 高齢者の知識を活用できるよう、三世交代交流をすることもいいが、中の世代は忙しいので、上と下との交流ができるようにすればどうか。
- ・ 農地を守る運動(方法)を考えてほしい
- ・ 日吉地区を問わず高齢化が進み、これから若者も少なく農事に関しても大変な状況になってきています。
- ・ 現在、シルバー、JA で農業に関する出張を行っています。日吉地区、有料出張農事、草刈り、田作業の必要性も有るのかなとも思います。
- ・ 低料金で、又、加西市農業組合との調整もふまえ計画していただきたい。(JA・シルバー・農機会社) ハリマ農高・その他地域
- ・ 休耕田に花をいっぱい植えたい(若者の移住に向けて)

【幼稚園跡の活用】

- ・ 幼稚園跡地の有効活用、地域内外から寄ってみたいくなるような「道の駅」的な交流場があればいいと思う
- ・ 仮称泉こども園ができると、各地区の園跡地で子どもを遊べる様にしてほしい。加西北部には公園や児童館などが無いので、同地区のママ友と話す機会にしたい。
- ・ 昔近くのお店に行くとき子供達が集まっていて学校以外にも楽しい場所が会ったように、幼稚園跡がそうなるといいなと思いました。
- ・ いつもお世話様です。幼稚園跡のふれあいの場もいいですが、老人がそこまで足を運ばません。まずは公民館の外にテラスをつくり、老人車をついたり杖で歩いたり、リハビリを金、ちょっとした世間話ができる場所作りはどうか？

【交通手段の充実】

- ・ 高齢者が免許を返納しても買物等の生活に困らないように、バス運用等のサポート体制があれば助かると思います！
- ・ 高齢者になると(一人暮らし)色々な催しがあったとしても車の免許がないので参加が出来ないのが現実です。無料送迎等を考えていただければ色々な場所に出向いて行けると思います。
- ・ 特別ありませんが、日吉地区も交通手段が現在関西東までバス路線がありますが、都中に降り滝野方面に行くのに途中で降りてそれが先に進めない現状です。もうすぐ運転免許返納の時期が近いので利用できるならバスを使いたいと思っておりますが、これでは不十分です。せめて滝野駅まで送迎して欲しいと思います。利用者の声として申し上げたい。
- ・ これからは移動の手段を個人に責めるのは考えてしまいます。(夜間行事は特に)

【家を建てやすいルールづくり】

- ・ 農地法の縛りによって、自由に住宅が建てにくい現状を無くす。そのことが改善されれば若者が帰ってきやすくなると思います。
- ・ これから段々と高齢化が進んで一人暮らしや空き家が増えていきます。これから在田地区に出来る工業団地に勤める人達に住居を安く提供して地域の活性化ができればと思いました。
- ・ 日吉地区は若いものが家から出て行ってしまっているの、加西市に仕事を増やして働ける会社があって家も建てやすい土地にして人を集めて欲しい。

【高齢化の対策】

- ・ 高齢者の増加に対するコミュニティ
- ・ 高齢者の一人暮らしの拡大 空き家の増加 農業の減少に対するの対策
- ・ 若者が戻ってくる観光、も大切なテーマであることには変わりはありませんが、まず、多くの暮らししている高齢者の方々へ便利で不安の少ない地域になるようにしてから、若者や観光を活発にしているのがよいと思います。

【地区内での交流促進】

- ・ 月1回位高齢者が100~200円の参加費でパンお菓子、お茶を飲みながら気軽に集まれる場所を整え企画運出来るスタッフをつとめる
- ・ 宇仁地区に比べるとイベントも少ないし、PRも少なく何をやっているのか分からない。健康増進のため、日帰り登山、ウォーキングなど各年代通じて参加できる催しなど
- ・ 地区内の夏祭り（夜間をメイン）の創設

【子供の遊び場づくり】

- ・ 公園に子供が好きそうなかわいい絵をかいいたり、公衆トイレを明るい色に塗ったり、歩道に花を植えたりすると街がきれいになるかなと思います。
- ・ 子どもが町内のグラウンドで遊んでいると高齢者から怒られるので高齢者用のグラウンドゴルフ場を別に作って欲しい。子どもの遊び場が無いような地域に将来性は無い

【医療費の無料化】

- ・ 医療費の高校生迄の無料化。消防団員の減少について合併の検討を行ってほしい。
- ・ 医療費の高校生迄の無料化。老人ホームを建てる。夜間の防犯灯をもう少し増やす。

【日吉の十字架地蔵の活用】

- ・ 日吉の十字架地蔵めぐり
- ・ 十字架地蔵の調査については吉田完次先生が調査をされてまとめておられますので、現場にいてそこに実在する社会資源をフル活用するためにも、社会資源の洗い出しを行うことは必要かつ有効な作業であると思います。現代のミステリーとして観光資源に活用、PRすることは有効な手法と考えます。案内板、マップ、地図などを設置し、三世代が各所を訪れ歩けるような、最低限の資料・整備を行うことが大切と考えます。十字架地蔵のある所在地域との調整や協力体制などが課題としてあります。参考文献を添付しておきます。

【ふるさと創造会議の情報発信】

- ・ 地域づくりの為にいろいろと取り組んで下さっていることが詳細に伝わって来ていないように思う。チラシ、回覧だけでなく、声をかけるのもいいのではないかな！
- ・ 交通機関の充実（市役所・病院・イオン等を日吉地区全灯を結ぶ路線）・ふるさと創造会議では大変ご苦労の様ですが、地区内・個人・個人に内容が十分理解されているのでしょうか。申し訳ないのですが、私は、理解できません。どの様に協力できるか？分かりません。今一度周知をお願いします。
- ・ 地域の住民がふるさと創造会議の活動に理解を示し様々な事業に積極的に参加してほしい

【空き家の対策】

- ・ これから20年後の日吉を考えてみる必要がある。空き家は町の1/3、人口は1/2位で、これからも70歳以上の老人がその大半を占めるのではないかな！！余程の対策を考えなければならないだろう。ガイヤや高橋醤油のような外から人が来てくれる店がもう数軒ほしい。

【地域活動の情報発信】

- ・ Youtubeを使って市の活動や文化、イベントの発信

【小学校の統合】

- ・ 小学校の統合、教育水準の向上

【災害対策】

- ・ 防災対策。地震、水害など危険な場所の調査。道路整備、歩道や看板、標識、ミラーの設置

【その他の意見】

- ・ 住み良いまちであればさいわいである
- ・ 日吉小学校グラウンド南側（道路沿い）に桜木を植えてほしい。（学校は桜が似合う）
- ・ 地域住民のボランティアに頼りすぎず、行政が主体となって、長期計画のもとに着実に進めるべき
- ・ 役所の都合や主導ではなく地域主導で負担の少ないものを
- ・ 大変申し訳ありませんが、他都市とくらべると加西市役所は市民に頼ることが多々あり、もっと職員は市民のかたとつながり、力となり、私達が協力してあげなければならないと思わせてくれる様な、言動行動を取って欲しいと願います。地域づくりは、協力したいですけど…
- ・ 創造会議の委員の方に10代20代は いらっしゃいますか？今後の地域づくりのために必要な年代の意見を聞いて欲しいです。
- ・ 野上町では、現在、いきいきサロン（さくら会）の行事としてウォーキングや外出等、計画されて、役員の皆様には大変お世話になっています。おかげで楽しく参加させていただいています。
- ・ アンケートに関して国政調査のアンケートでも個人情報について漏れる事が内容に記入したアンケートを入れる封筒や目隠しシール等が添付されているのに、このアンケートはアンケート用紙だけ配布回収するのは問題ありです。また、日吉地区ふるさと創造会議の責任者、所有地、連絡先、アンケートの主旨、目的の説明書等、不明点が多く、もっときちんと整備した形で実施されることが必要の様に思います。

ii. ワークショップの実施

①第1回プログラム

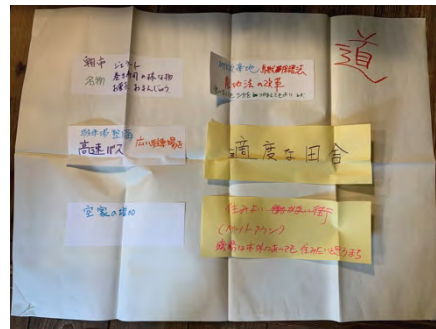
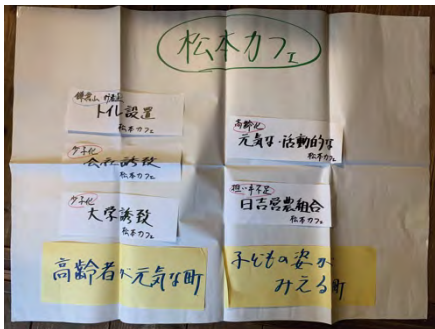
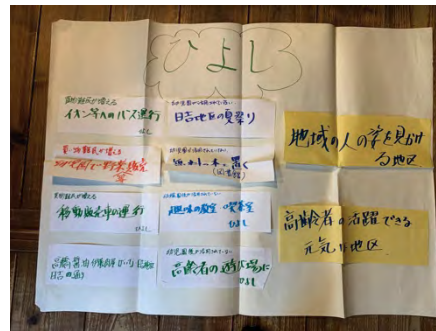
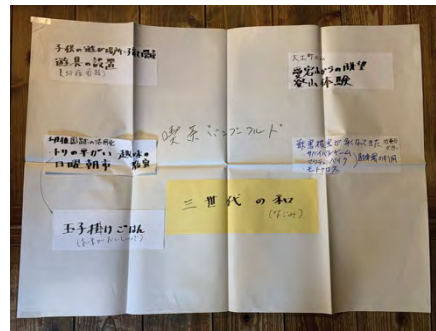
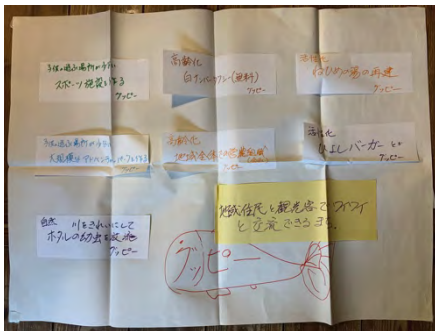
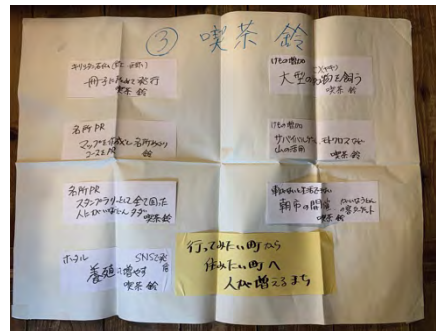
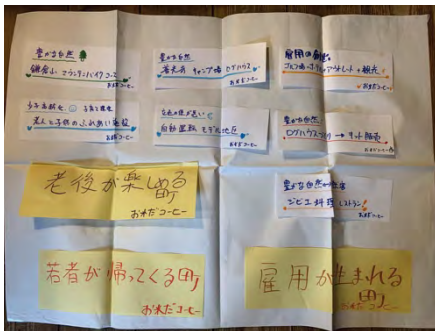
日時：平成30年10月17日（水）

参加者：約30人

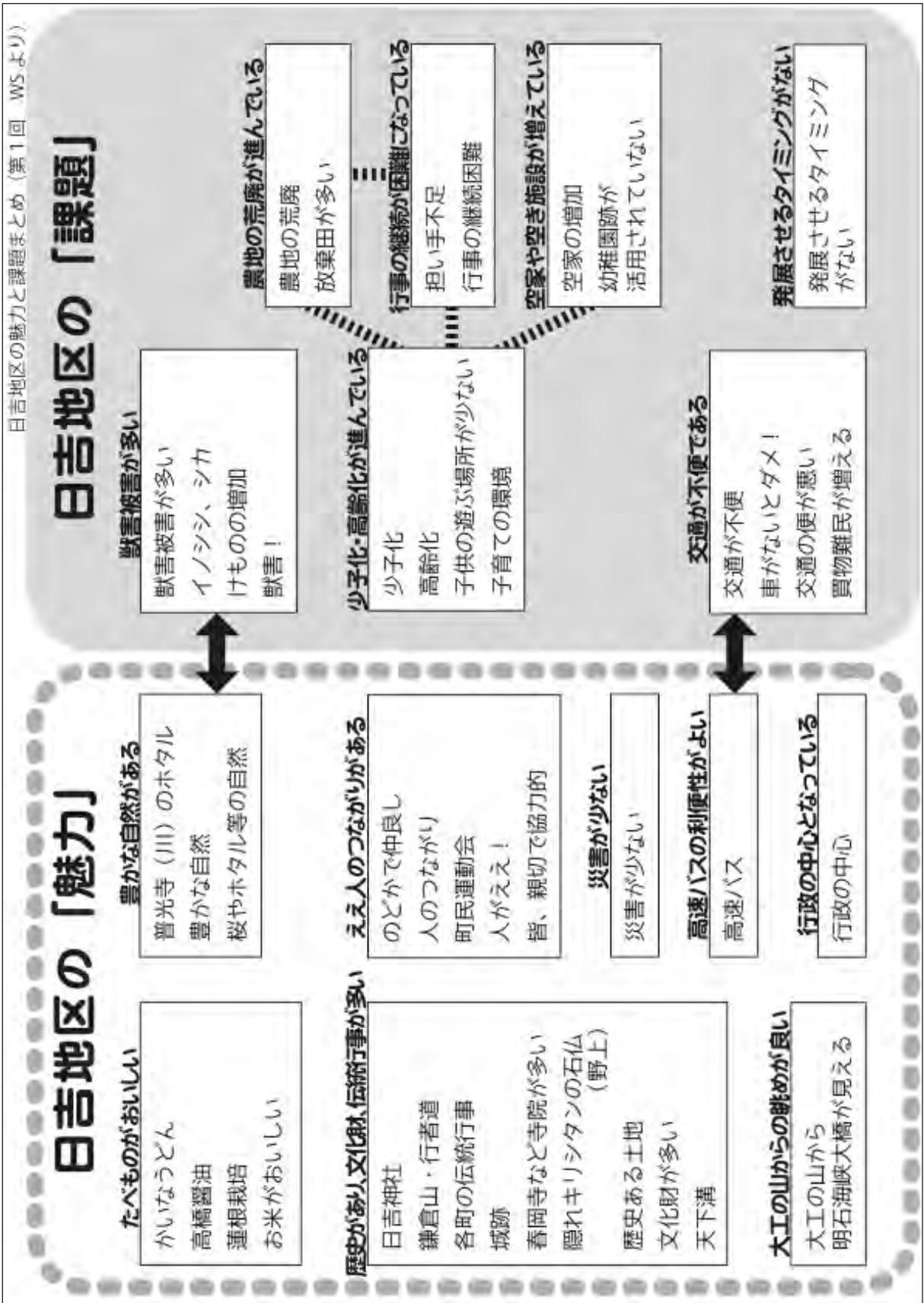
テーマ：自分の区や日吉地区の魅力と課題を考える

ワークショップの概要：

最初に地域づくりのすすめとして、地域づくりに関する他地区の事例を学びました。その後、日吉地区の魅力と課題について話し合う、8グループに分かれてのワークショップを行いました。最後に各グループで話し合った内容について、全体での共有を行いました。



▲ 魅力と課題についてのワークショップ 模造紙



▲ 日吉地区の魅力と課題まとめ

②第2回プログラム

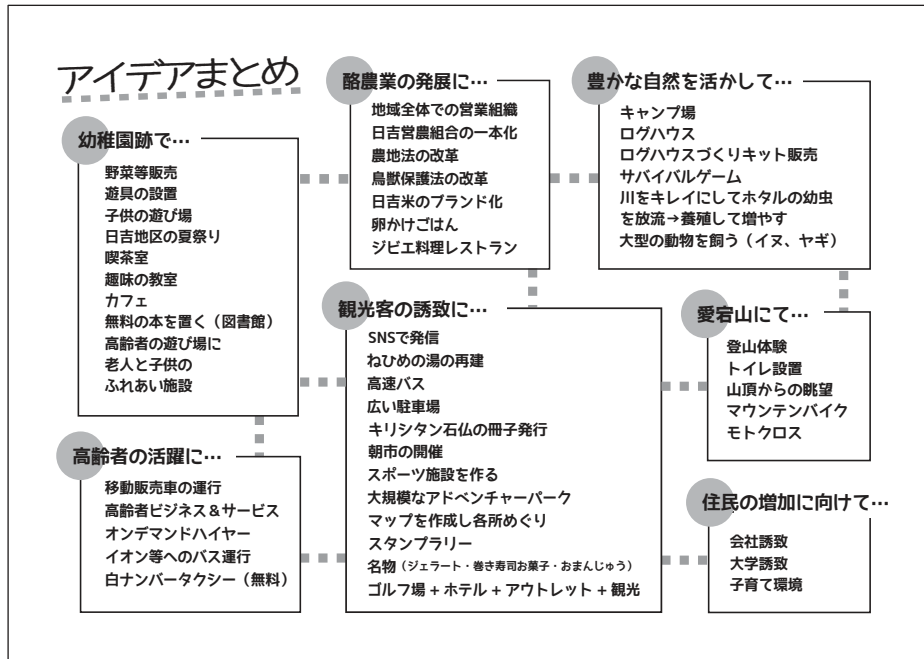
日時：平成30年11月21日（水）

参加者：約30人

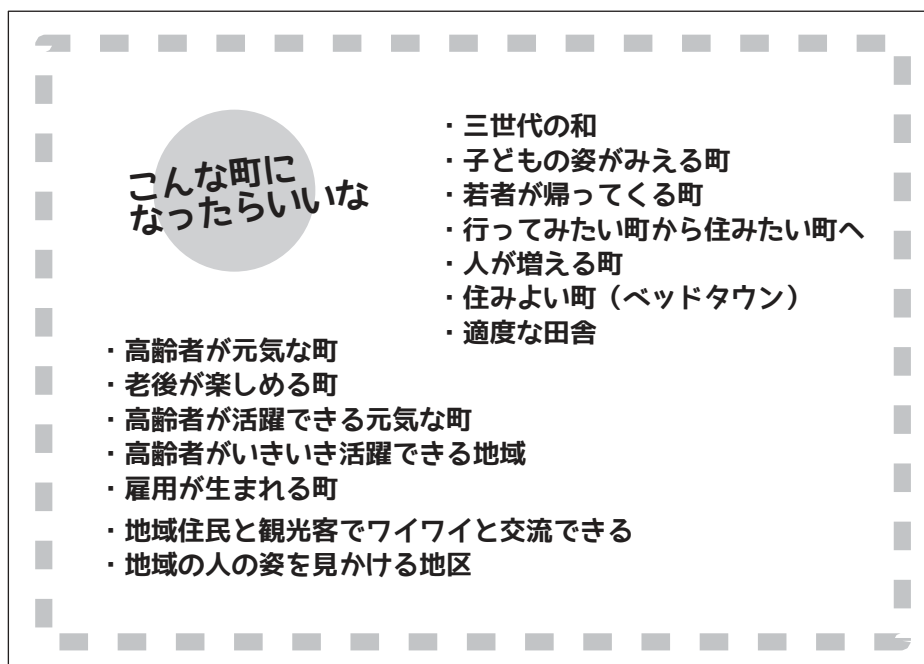
テーマ：魅力を伸ばし、課題を解決するアイデアを考える

ワークショップの概要：

前回の成果を整理し、日吉地区各町および全体に関する魅力と課題を確認しました。その後8グループに分かれ、日吉地区の魅力を伸ばし、課題を解決するためのアイデアを検討し、さらに、望ましい将来像に関するキーワードを確認するワークショップを行いました。最後に、確認されたアイデアと望ましい将来像に関するキーワードを、全体での共有を行いました。

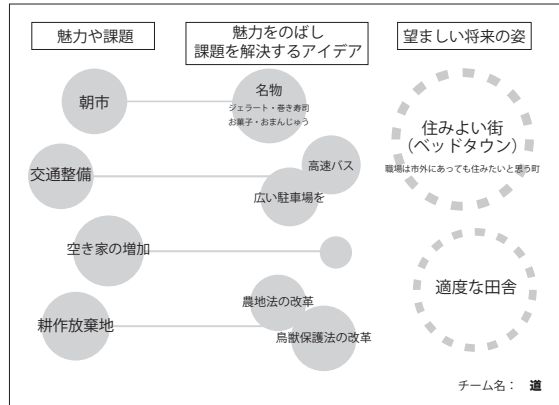
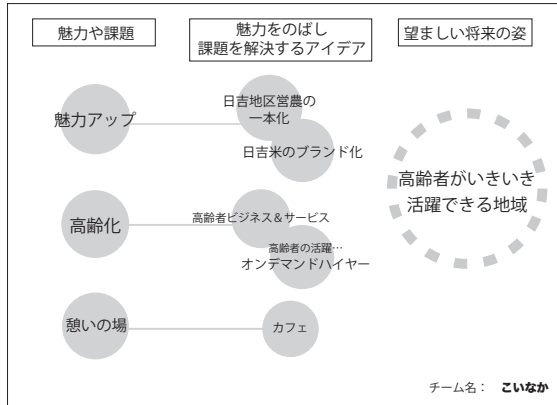
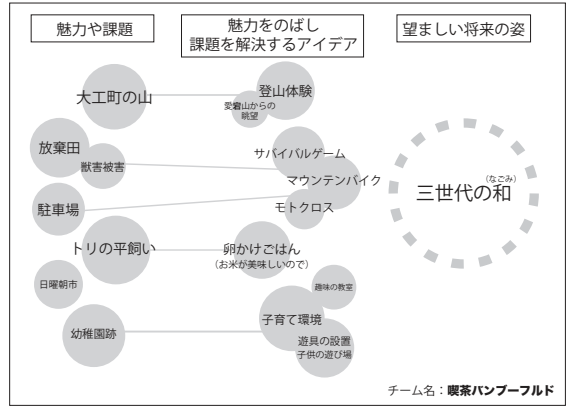
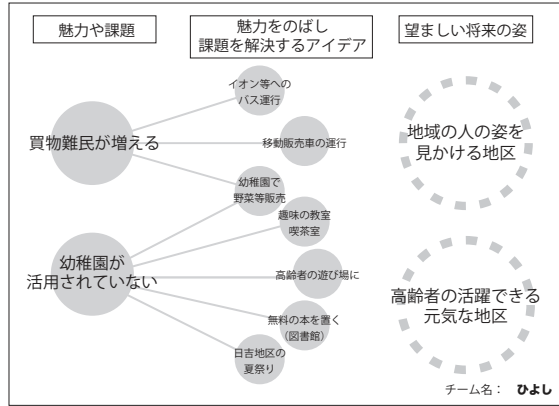
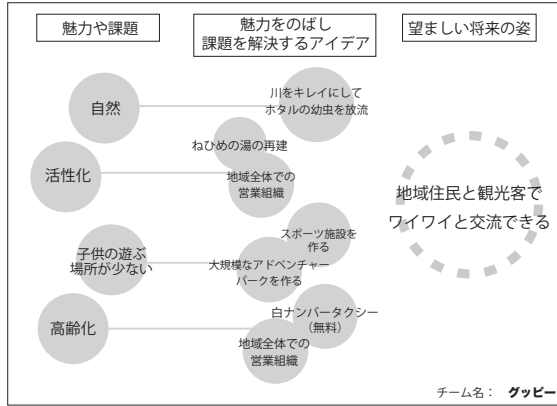
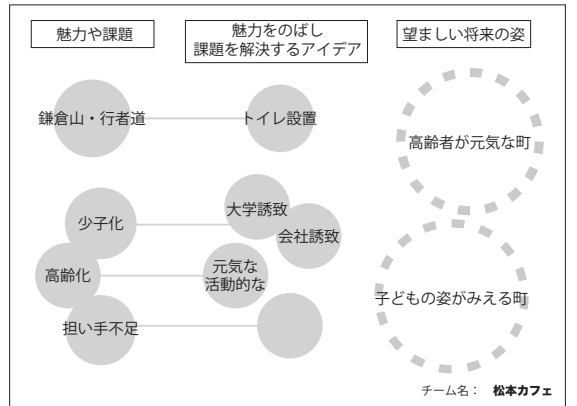
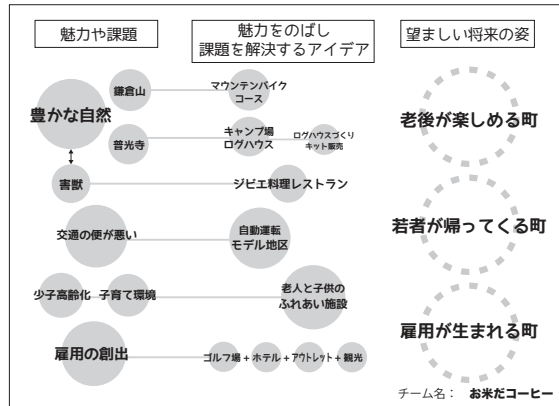
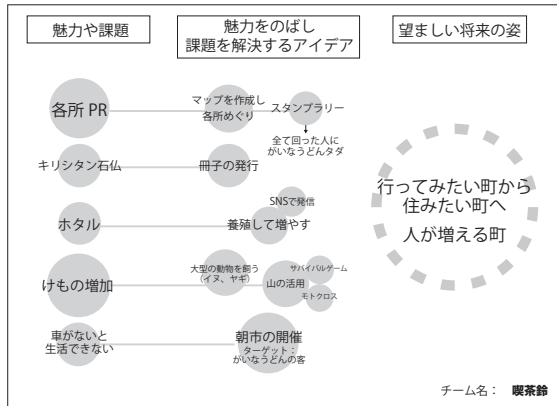


▲ 日吉地区の課題を解決するためのアイデア まとめ



▲ 日吉地区の望ましい将来像 まとめ

▼ 日吉地区の魅力と課題 まとめ



③第3回プログラム

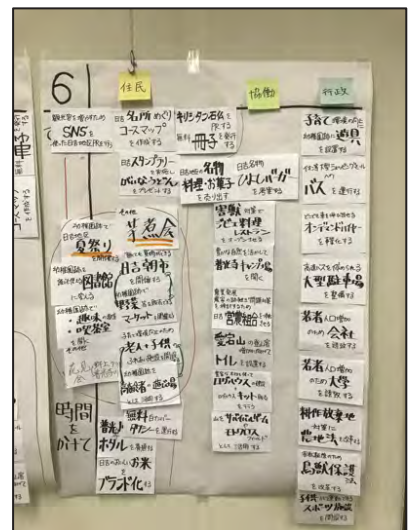
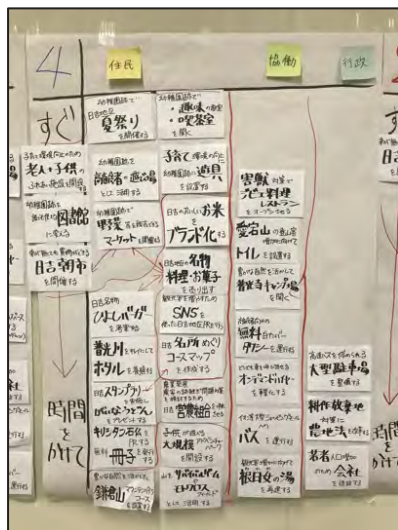
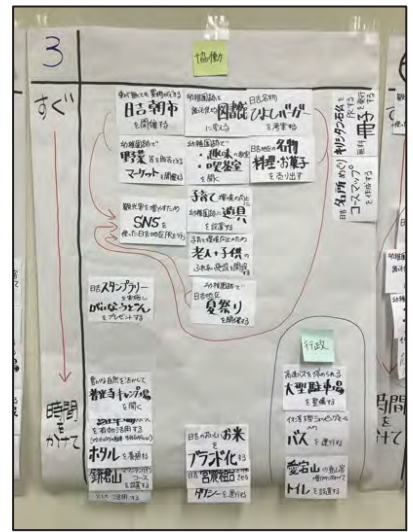
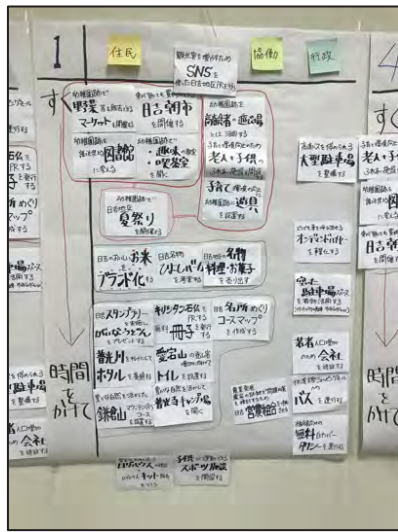
日時：平成30年12月19日（水）

参加者：約30人

テーマ：望ましい将来につなげる活動のスケジュールを考える

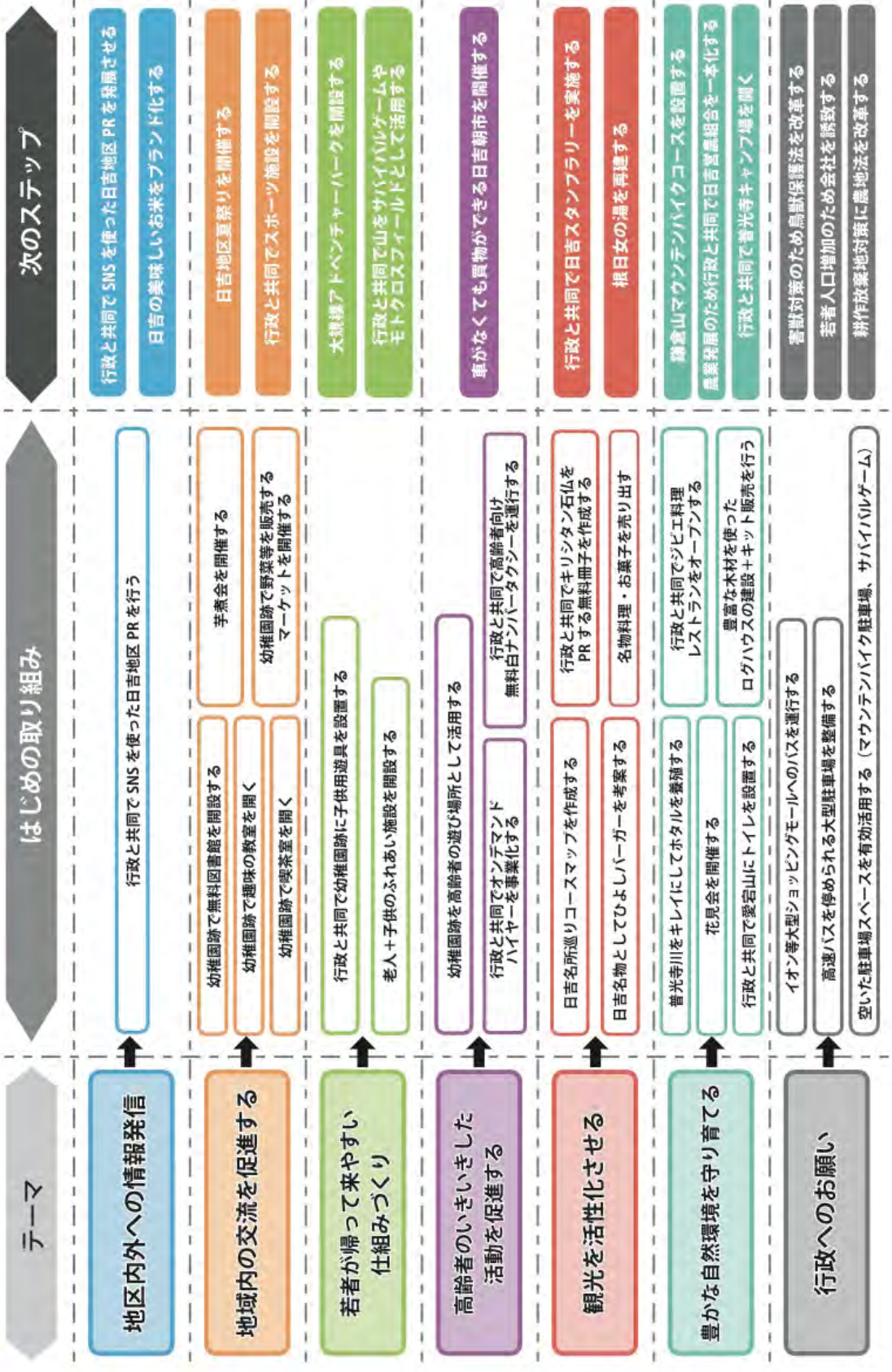
ワークショップの概要：

前回の成果を整理し、日吉地区各町および全体に関する、魅力を伸ばし課題を解決するためのアイデア、望ましい将来の姿に関するキーワードを確認しました。前回ワークショップの成果から作成したアイデアカードを用いて、「すぐ→時間をかけて」の軸、「住民／協働／行政」の軸に基づいて、活動スケジュールを検討するワークショップを行いました。最後に、作成した活動スケジュールについて、全体での共有を行いました。この成果を元に作成した、取り組みのスケジュール等を、次頁に示します。



▲ 活動スケジュールを検討するワークショップ 模造紙

(仮) 日吉地区 地域創生計画案



▲ (仮) 日吉地区 地域創生計画案

④第4回プログラム

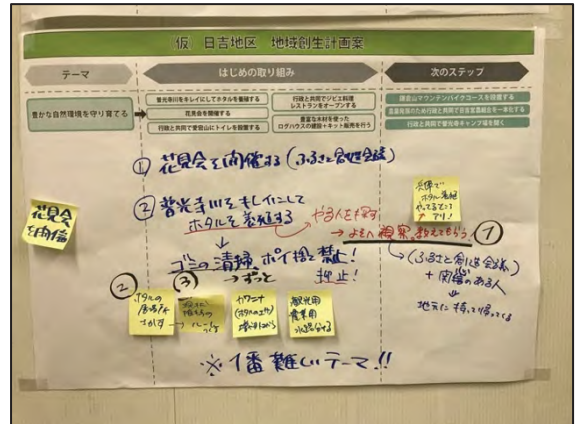
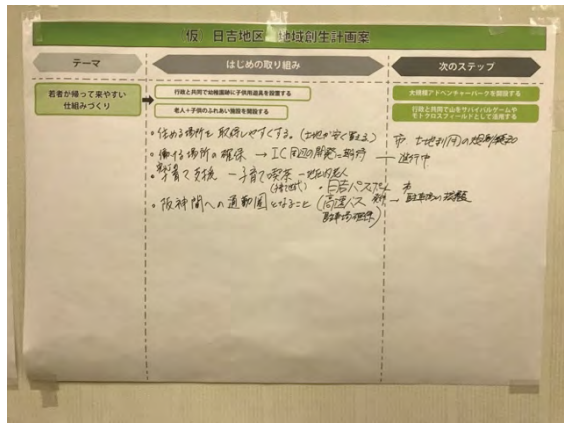
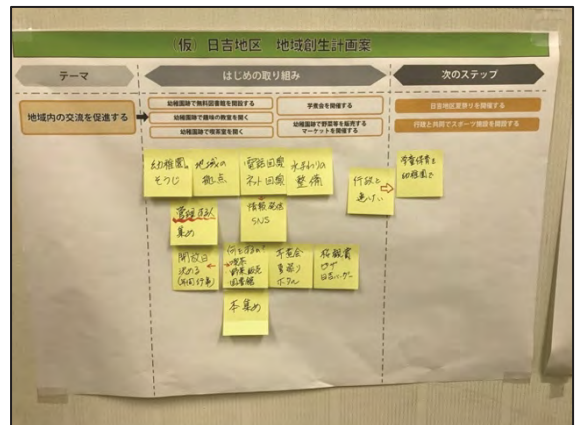
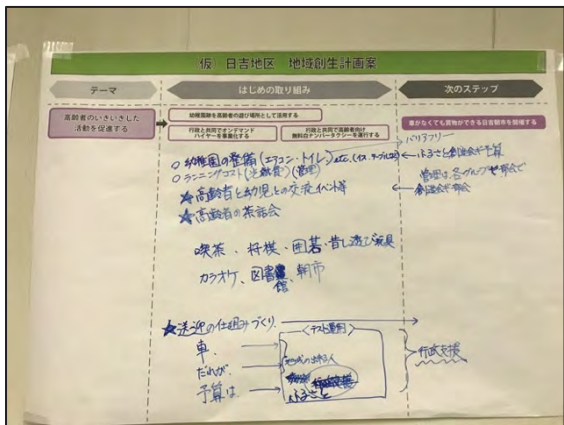
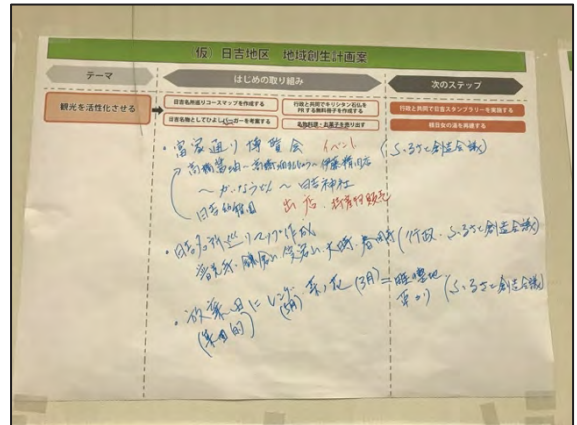
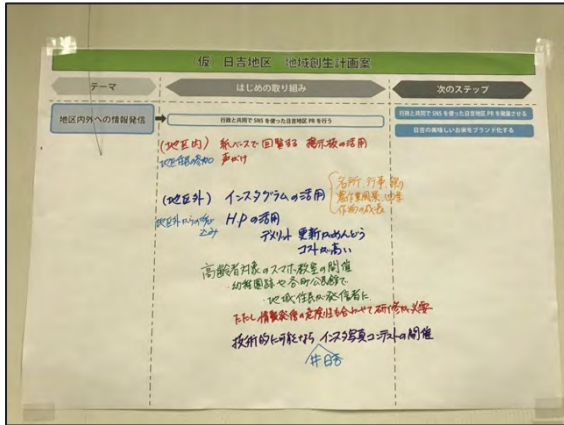
日時：平成31年2月13日（水）

参加者：約30人

テーマ：望ましい将来につなげる活動のスケジュールを考える（2）

ワークショップの概要：

前回ワークショップで検討した、活動スケジュールを元に作成した活動計画（案）について、全体で確認をしました。活動計画（案）で示した6つのテーマについて、関心のある参加者でグループを形成し、内容の検証と修正を行いました。最後に、各テーマでの活動計画の修正案を発表し、全体での共有を行いました。



▲ 活動スケジュールを考えるワークショップ 模造紙

(仮) 日吉地区ふるさと創造計画

— 地区内外への情報発信 —

【地区内外への情報発信】

- ・紙ベースによる情報発信（昔ながらの回覧板、掲示板の活用）
- ・声掛け、口コミによる情報発信。

【地区外への情報発信】

- ・高齢者向けスマホ研修会、撮影勉強会などの開催
- ・インスタグラムを活用した地域住民による情報発信
→ 名所、行事祭り、農作業風景、四季折々作物の成長風景などの写真掲載
- ・日吉インスタ写真コンテストの開催（#日吉）

— 高齢者のいきいきとした活動の促進と暮らし —

【高齢者の交流場づくり（幼稚園跡）】

- ・幼稚園跡の整備（洋式トイレ、空調機器の設置など）
- ・レンタルスペースとしての活用
→ 定期的な交流イベントの開催
- ・茶話室や図書館などの設置、朝市の開催

【高齢者向けオンデマンドハイヤー】

- ・有志による試験的運用
- ・行政との協働による本格的運用（生活難民対策）

初期費用 ぶらさそ創造会より
維持費用 各グループや部会より

— 若者が帰って来やすい仕組みづくり —

【安心安全の子育て支援】

- ・子育て喫茶の設置（幼稚園跡）
 - ・地区内老人によるお悩み相談
- #### 【働く場所の確保】
- ・日吉バスポートの発行、行政による駐車場の拡張
 - ・阪神間への通勤圏化（高速バスの運行、地域住民向け駐車場の確保）
- #### 【住居購入の容易化】
- ・行政による土地利用の規制緩和、所得税の減免

— 観光を活性化させる —

【富家通り博覧会の開催】

- ・出店による酒まんじゅうの復活、がいなうなどの特産物の販売
→ 日吉秋祭りの人が集まる時期に行う（神輿を担がない年に）

【日吉名所巡りマップの制作と配布】

- ・観光名所マップの制作と配布
- 【耕作放棄地の活用】
- ・畦の整地・草刈り
- ・花を植えて観光資源に（3月：菜の花 5月：蓮華）

— 地区内の交流を促進させる —

【交流拠点の整備と活用（幼稚園跡）】

- ・幼稚園跡の整備（水回り、電話・ネット回線など）
→ プロによる整備と地域住民による整備（できる所は自分達で）
- ・開放日、管理者などの決定
- ・芋煮会や夏祭り、ホタル鑑賞会、桜鑑賞会などイベントの開催
- ・喫茶や野菜販売場、図書館の設置（古本の収集）
- ・学童保育の実施（※行政との協働による運用）

— 豊かな自然を守り育てる —

【花見会の実施】

- ・花見場所の決定と実施
- #### 【普光寺川の環境向上、ホタル養殖】
- ・普光寺川の清掃（ボイ捨ての禁止、抑止）
 - ・ホタル養殖場の視察、ホタル生体の勉強
 - ・ホタル生息場所の調査
 - ・普光寺川の維持管理ルールの設定
 - ・ホタルが増える環境整備

▲ (仮) 日吉地区ふるさと創造計画

⑤第5回プログラム

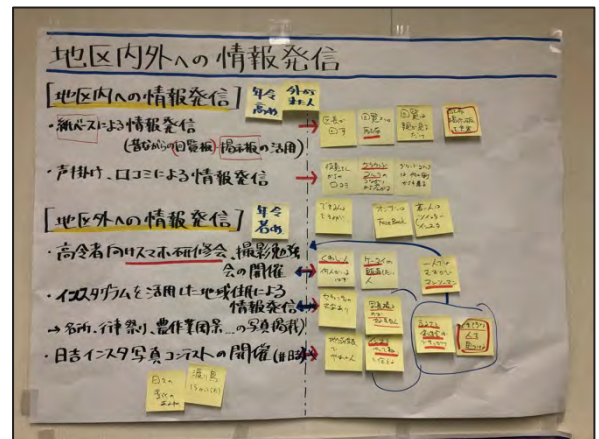
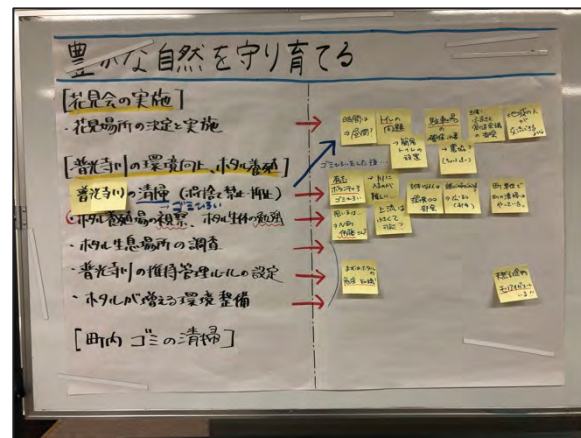
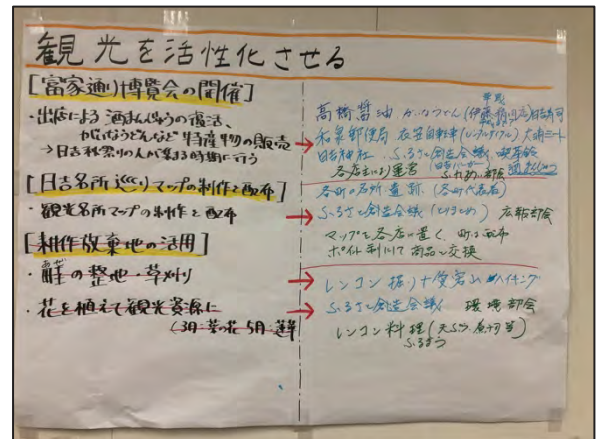
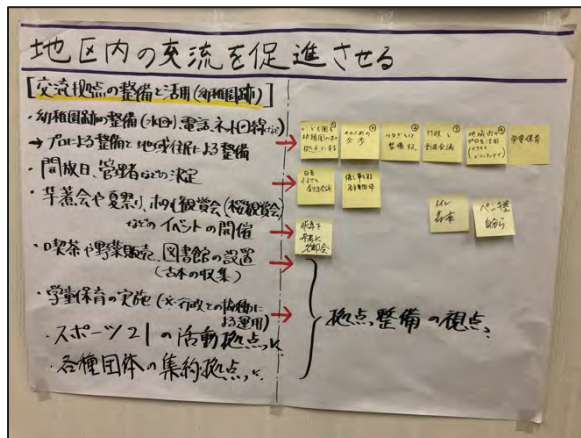
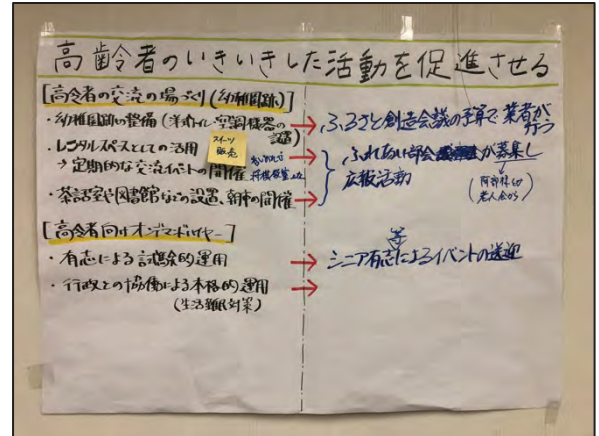
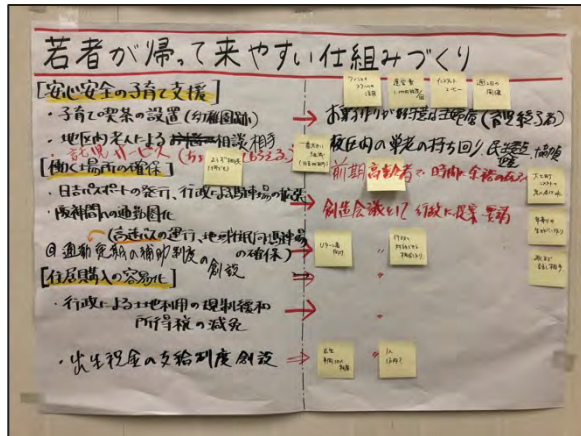
日時：平成31年3月13日（水）

参加者：約30人

テーマ：望ましい将来につなげる活動と担い手を考える

ワークショップの概要：

前回修正した活動計画案について、全体で確認をしました。その後各テーマについて、前回検討したグループでのワークショップを行い、必要な修正と活動の担い手について、最初に進める活動について検討しました。最後に各テーマでの検討結果と、最初に取り組む活動（案）を全体での共有を行いました。



▲ 活動の担い手を検討するワークショップ 模造紙

— 観光を活性化させる —

【富家通り博覧会の開催】

- 出店による酒まんじゅうの復活、がいなうどんなど特産物の販売
 - 日吉秋祭りの人が集まる時期に行う（神輿を担がない年に）
 - ・高橋醤油・がいなうどん（伊藤精肉店）・日吉寿司・和泉郵便局、
 - ・衣裳自転車（レンタルサイクル）・大浦ミート・日吉神社
 - ・ふるさと創造会議（日吉バーガー）・喫茶鈴・酒まんじゅう
 - 各店主により運営、ふれあい部会

【日吉名所巡りマップの制作と配布】

- 観光名所マップの制作と配布
 - ・各町の名所、遺跡（各町代表者）
 - ・ふるさと創造会議（とりまとめ）
 - ・広報部会
 - マップを各店に置く
 - 町には配布する
 - ポイント制にして商品と交換

【耕作放棄地の活用】

- レンコン掘り+愛宕山ハイキング
 - ・ふるさと創造会議・環境部会
 - れんこん料理（天ぷら、煮物等）ふるまう

— 若者が帰って来やすい仕組みづくり —

【安心安全の子育て支援】

- 子育て喫茶の設置（幼稚園跡）
 - お菓子作りが得意な主婦層（育児終了者）
 - ・ワッショイスケールの活用・運営費 1,000 円程度 / 回
 - ・インスタントコーヒー・週 2 日の開催
- 地区内老人によるお悩み相談
 - 校区内の単老の持ち回り、民生児童委員、協力者
 - ・大工町の老人会は OK ・お年寄りの生きがいづくり
 - ・あくまで相談
- 託児サービス
 - 前期高齢者で時間に余裕のある人

【働く場所の確保】

- 日吉バスポートの発行、行政による駐車場の拡張
 - 創造会議として行政に提案・相談
- 阪神間への通勤圏化（高速バスの運行、地域住民向け駐車場の確保）
 - 創造会議として行政に提案・相談
 - ・Uターン者向け・行政と対話できる機会作り

【住居購入の容易化】

- 行政による土地利用の規制緩和、所得税の減免
 - 創造会議として行政に提案・相談
- 出生祝金の支給制度創設
 - 創造会議として行政に提案・相談
 - ・出生年間10人程度→1人1万円？

— 地区内外への情報発信 —

【地区内への情報発信】・年齢が高め・外から来た人

- 紙ベースによる情報発信（昔ながらの回覧板、掲示板の活用）
 - 区長が回す
 - 回覧よりは配布する。回覧は親が見るだけ
 - 配布掲示板を充実
- 声掛け、口コミによる情報発信
 - 役員さんからの口コミ
 - ・グラウンドゴルフのつながりから広がる
 - ・グラウンドゴルフは他の町からも来る
 - ・できる人はできるが…
 - ・おじさんは Facebook、若い人はツイッター、インスタ

【地区外への情報発信】・年齢若め

- 高齢者向けスマホ研修会、撮影勉強会などの開催
 - できそうな人を見つける
 - ・詳しい人が何人かいるはず・携帯を販売したい人
 - ・写真取るのが好きな人・ふるさと創造会議できかけ
 - 一人では難しいマンツーマン
- インスタグラムを活用した地域住民による情報発信
 - 名所、行事祭り、農作業風景、四季折々作物の成長風景、渡り鳥の写真掲載
 - セキュリティの不安あり
- 日吉インスタ写真コンテストの開催（#日吉）
 - 「インスタやってね！」と伝える
 - ・地域住民でやれる人・写真取るのが好きな人

— 豊かな自然を守り育てる —

【花見会の実施】

- 花見場所の決定と実施
 - 時間は昼間（ゴミ拾いをした後）
 - トイレの問題 → 簡易トイレの設置
 - 駐車場の確保 → 農協？（少し遠い）
 - 主催・ふるさと創造会議 部会
 - 地域の人が交流出来るように

【普光寺川の環境向上、ホタル養殖】

- 普光寺川の清掃（ポイ捨ての禁止、抑止）
 - 有志によるゴミ拾い（ボランティア）
 - 川に入るのが難しい？ → 上流は川が小さいため可能？
 - 主体となる人 → 環境部会
 - 誰が呼びかけるのか → 広報部会
- ホタル養殖場の視察、ホタル生体の勉強
 - 担い手は N 町伊藤さん？
- ホタル生息場所の調査
- 普光寺川の維持管理ルールの設定
- ホタルが増える環境整備
 - まずはホタルについての知識・勉強

— 高齢者のいきいきした活動を促進させる —

【高齢者の交流場づくり（幼稚園跡）】

- 幼稚園後の整備（洋式トイレ、空調機器の設置など）
 - ふるさと創造会議の予算で業者が行う
- レンタルスペースとしての活用
 - 初期費用：ふるさと創造会議？
 - 維持費用：各グループや部会？
 - 定期的な交流イベントの開催
 - ・スイーツ販売、昔あそび、将棋教室 etc
 - ふれあい部会が募集し（阿部様や老人会から）、広報活動…
- 茶和室や図書館などの設置、朝市の開催
 - ふれあい部会が募集し（阿部様や老人会から）、広報活動…

【高齢者向けオンデマンドハイヤー】

- 有志による試験的運用
 - シニア有志等によるイベントの送迎
- 行政との協働による本格的運用（生活難民対策）

— 地区内の交流を促進させる —

【交流拠点の整備と活用（幼稚園跡）】

- 幼稚園後の整備（水回り、電話、ネット回線など）
 - プロによる整備と地域住民による整備（できる所は自分たちで）
 - ①こども園を幼稚園の次の拠点にする → ②そのための交渉
 - ③つなぎとして整備する → ④行政と創造会議
 - ⑤地域内のプロを活用（できればボランティアで）
 - ベンキは自ら塗る、トイレは森本さん
 - 学童保育
- 開放日、管理者などの決定
 - 日吉ふるさと創造会議・催し事をする各種団体
- 芋煮会や夏祭り、ホタル鑑賞会、桜鑑賞会などイベントの開催
 - 昨年を参考に各部会
- 喫茶や野菜販売場、図書館の設置（古本の収集）
- 学童保育の実施（※行政との協働による運用）
- 学童保育

▲ 各グループの活動計画案

⑥第6回プログラム

日時：令和元年8月21日（水）

参加者：約30名

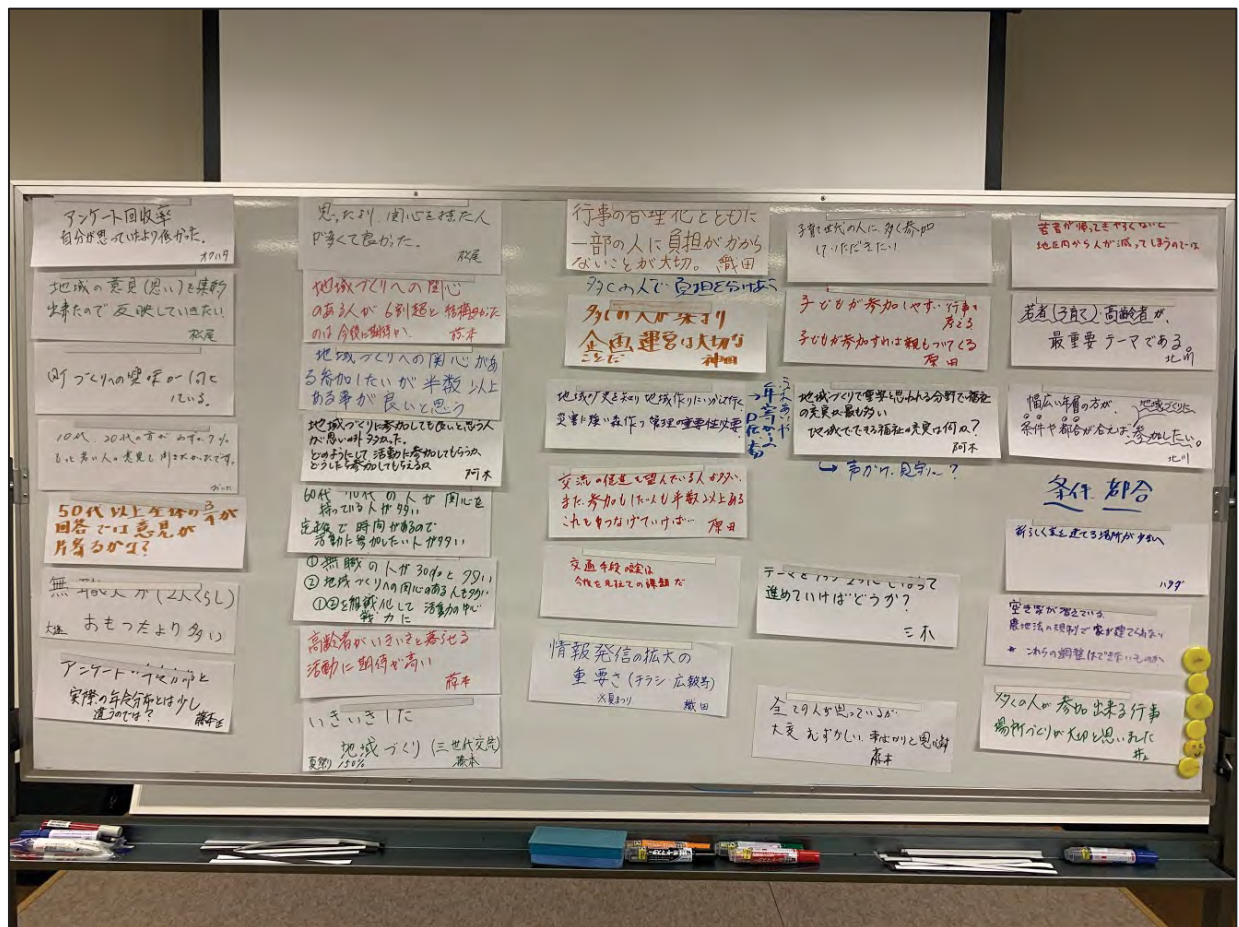
テーマ：アンケート結果の確認

ワークショップの概要：

令和元年5月から6月にかけて実施した、全戸配布のまちづくりアンケートの結果を確認しました。その後、アンケート結果を確認した感想・意見を1人ずつ短冊用紙に書き出し、全体での共有を行いました。



▲ ワークショップの様子



▲ アンケート結果についての感想と意見

⑦第7回プログラム

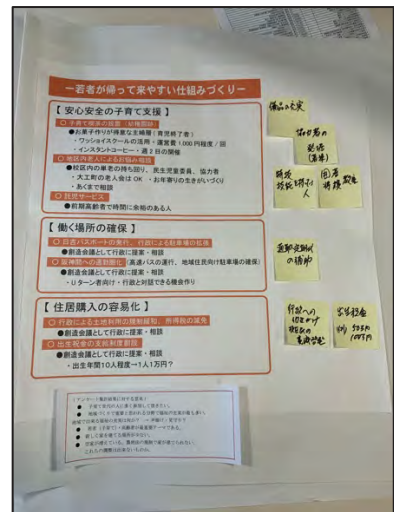
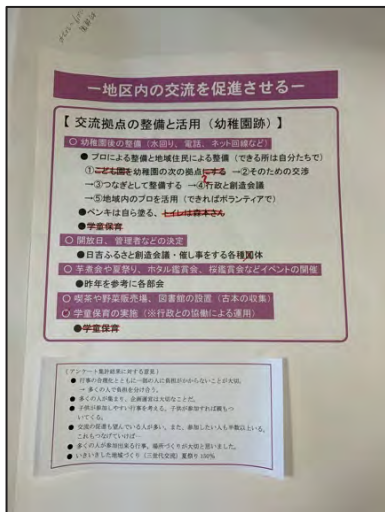
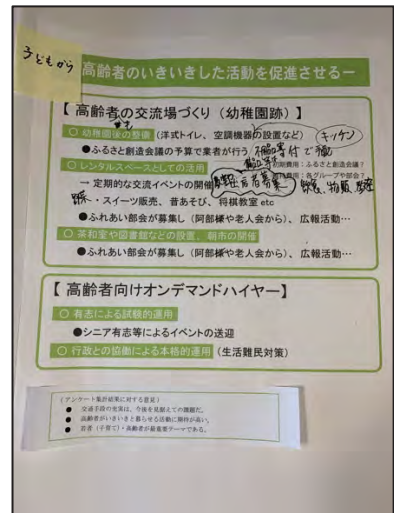
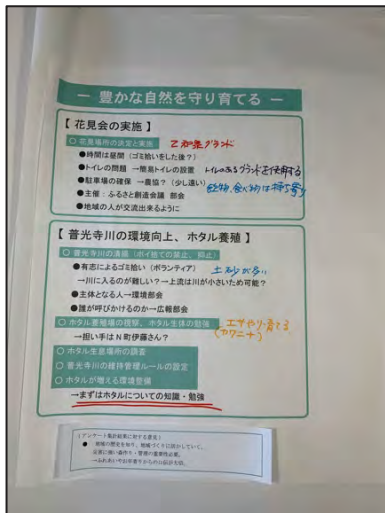
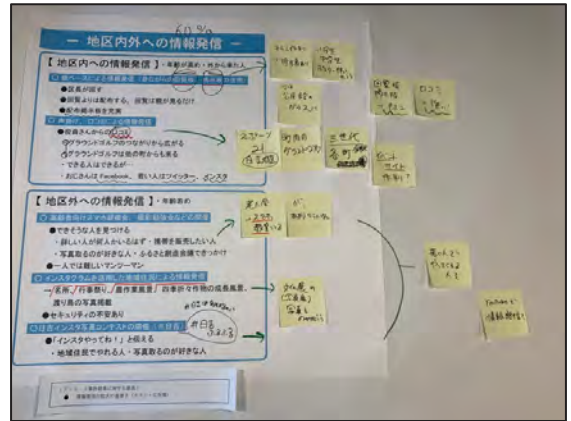
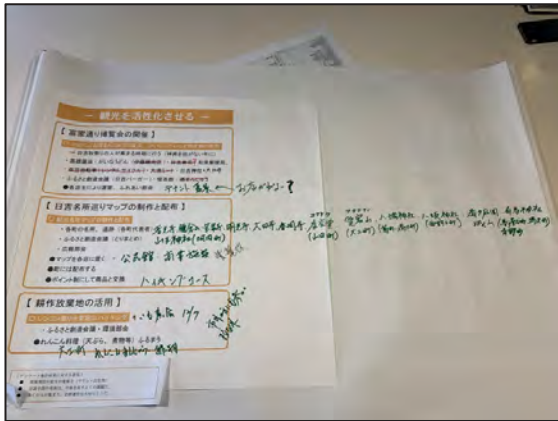
日時：令和元年9月20日（金）

参加者：約30名

テーマ：昨年度の計画を見直す

ワークショップの概要：

昨年度検討した活動計画について、全体で確認しました。その後グループに別れ、まちづくりアンケートの意見等を踏まえて、昨年度の活動計画の確認・修正を行いました。最後に修正した活動計画について、全体での共有を行いました。



▲ 活動計画の確認・修正を行うワークショップ 模造紙

一地区内外への情報発信一

【地区内への情報発信】

【実施時期】 観音新、乗来新、チラシとロコミによる情報発信
 【担当】 ()
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ 町民は区長から出す。
 ・ 配布用紙を充実させる。
 ・ 役員さんにロコミで伝えるようお願いする。

【地区外への情報発信】

【実施時期】 SNS (インスタグラム) に慣れている若者 ()
 【担当】 ()
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ インスタグラムへ日言の写真を掲載する。
 ・ (名所、行事祭り、農作業風景、四季折々作物の成長風景、遊り鳥等)
 ・ 老人会や文化祭で、写真を観覧されている方にお話しし、日言の写真を撮影して頂く。
 ・ 「日言(ハッシュタグ) 日言ふるふる」で地域住民からも投稿するように呼びかける。
 ・ 日言インスタグラムコンテストを開催する。

【イベントの活用】

【実施時期】 ()
 【担当】 広報部 ()
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ 手書き会等、イベントの宣伝を行う。
 ・ イベント先着何名様に特典を用意する等、集客を狙う。
 ・ (YouTubeへ宣伝動画を投稿してみる?)

一観光を活性化させる一

【富家通り博覧会の開催】

【実施時期】 日言秋祭りの時期 (神輿を担がない年に行う)
 【担当】 ふれあい部会、各店主より運営
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ 地区内外へのナオン開催を行う。(高橋餅屋、がいなうどん、和泉郵便局、日言神社、大石亭、塚崎餅屋)
 ・ 日言バーガーの開催を行う。(担当) ふるさと創造会議

【日言名所めぐりマップの制作と配布】

【実施時期】 ()
 【担当】 広報部、とりまとめ:ふるさと創造会議
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ 設置場所:公民館、アスパア加高、イオン等商業施設、各町へ配布
 ・ 各町の名所を掲載する。
 ・ ハイキングコースを作成し、マップに反映させる。

【耕作放棄地の活用】

【実施時期】 手書き会、栗岩山ハイキング開催時 (12月7日)
 【担当】 ()
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ 大工町にレンコンを植えている地があるため、活用を検討する。
 ・ 手書き会と合わせて、参加者に採れたレンコンを振る舞う。(天ぷら、まんじゅう、酢の物等)
 ・ 市外にもPRを行う。

一若者が帰って来やすい仕組みづくり一

【安心安全の子育て支援】

【実施時期】 ()
 【担当】 ()
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ お菓子作りや押餅など主婦層に手伝って頂く。・パスタコースヒーの設置。
 ・ 遊?遊園地からの来客。・むっしゅいスタールの活用。・運営費1000円程度。・日
 ・ 各町を巡って説明し、協力者を募る。
 【実施時期】 ()
 【担当】 民生委員児童委員、協力委員
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ 地区内老人によるお餅詰めを行う。・月1回程度、持ち回り制で行う。
 ・ お年寄りのまきがいづくりに、あくまで相談のみを行う。
 【実施時期】 ()
 【担当】 ()
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ ハードルが高いため、南のほうから指導をしてもらい、長期的に考える。

【住居購入の容易化】

【実施時期】 ()
 【担当】 ふるさと創造会議
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ 地域指定による規制の緩和について、行政に提案・相談する。
 【実施時期】 ()
 【担当】 ふるさと創造会議
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ 案件付きで1人出産につき50~100万円程度税金を減らすことなどを、行政に提案・相談する。

【働く場所の確保】

【実施時期】 ()
 【担当】 ふるさと創造会議
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ 駐車場を地域外の人でも多く使っている。日言だけではなく、加高バスポートにしては?
 ・ 高速バスの運行、地域住民向け駐車場の確保。
 ・ 通勤手当代が高い行政が就職をする等、思い切った取り組みが必要?
 ・ ターン着向け、行政と対話ができる機会づくり。

一豊かな自然を守り育てる一

【花見会の実施】

【実施時期】 ()
 【担当】 日言ふるさと創造会議
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ 場所:乙和泉グラウンド(トイレあり、駐車場近い)
 ・ 和式トイレから洋式トイレに変更する。
 ・ 食べ物は持ち寄り制とする。
 ・ アルコールを飲まれる方に向けた送迎方法を考える。
 ・ 地域の人が交流できるような仕組みを考える。

【普光寺川の環境向上、ホタルの養殖】

【実施時期】 ()
 【担当】 環境部会(呼びかけ:広報部会)
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ 有志によるゴミ拾い(ボランティア)
 ・ ゴミよりも土砂の堆積が多く、整備が必要。
 【実施時期】 ()
 【担当】 環境部会
 【世話人】 野上町1さん?
 【内容とポイント】
 ・ ホタルの産卵場の確保を行う。
 ・ 勉強会を実施する。
 ・ (勉強後) 生息場所の調査、維持管理ルールの設定、ホタルが住み良い環境の整備、カワナ(ホタルの餌)の育成等

一高齢者のいきいきした活動を促進させる一

【子供から高齢者までの交流場づくり】

【実施時期】 ()
 【担当】 () 初期費用:ふるさと創造会議 維持費用:各グループや部会
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ 不要品や、寄付等により用品を手配する。
 ・ 洋式トイレ、空調機器の整備、キッチン設置を行う。
 【実施時期】 ()
 【担当】 とりまとめ:ふるさと創造会議(兼任:広報部会)
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ 使用料を払ってもらい、部屋を貸し出す。
 ・ 出店者の募集(飲食店、物販、教室等)
 ・ 小さな店舗が2つあるため、1つをキッチンスペースとする。
 ・ できれば月替り出店者が代わってもらえれば。
 【実施時期】 ()
 【担当】 ふれあい部会
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ カフェスペースを設け、地域の交流を促す。
 ・ 交流イベントの開催を行う(野菜販売、スイーツ販売、昔あそび、将棋教室等)

【高齢者向けオンデマンドハイヤー】

【実施時期】 イベント時
 【担当】 有志による
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ イベント時、連絡があれば高齢者の送迎を行う。
 ・ 大きなバスでは狭い路地に入れないため、自家用車程度の大きさの車で行う。
 ・ (試験運用終了後) 行政との協働による、本格的運用(生活福祉対策)

一地区内の交流を促進させる一

【幼稚園の整備と活用】

【実施時期】 ()
 【担当】 () 行政、ふるさと創造会議
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】
 ・ できる場所は自分たちで整備を行う(プロによる整備と地域住民による整備)
 ・ 地域内のプロを活用(できればボランティアで)
 ・ ベンキは自分たちで造る。
 ・ 現在こども園が使えないため、代わりに幼稚園跡を拠点とする(5年間)。

【農談日「管理費」などの集計】

【実施時期】 ()
 【担当】 管理者:日言ふるさと創造会議、催し事をする各種団体
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】

【手書き会や夏祭り、ホタル鑑賞会、桜談話会などイベントの開催】

【実施時期】 ()
 【担当】 各部会(昨年を参考に)
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】

【増茶や餅屋場所、日言の設置(古本の収集)】

【実施時期】 ()
 【担当】 ()
 【世話人】 ()
 【内容とポイント】

▲ 各グループの活動計画案

⑧第8回プログラム

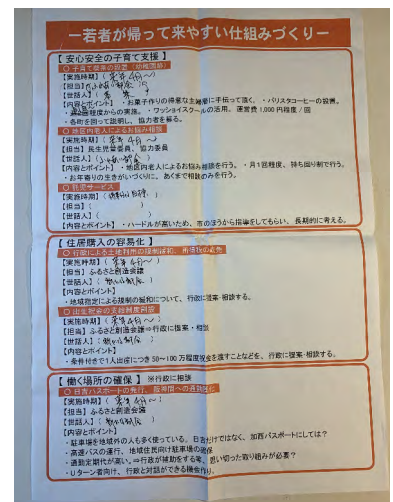
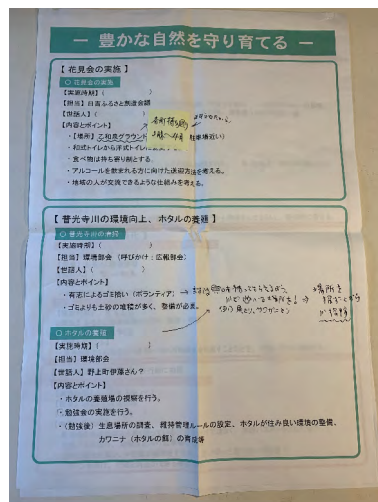
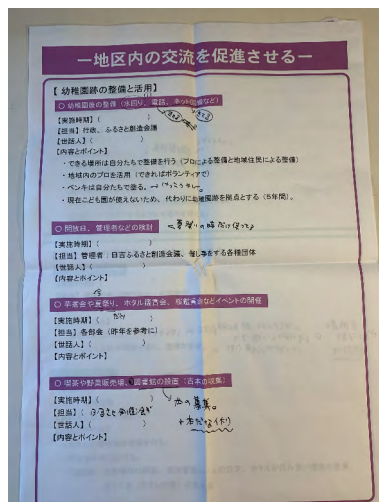
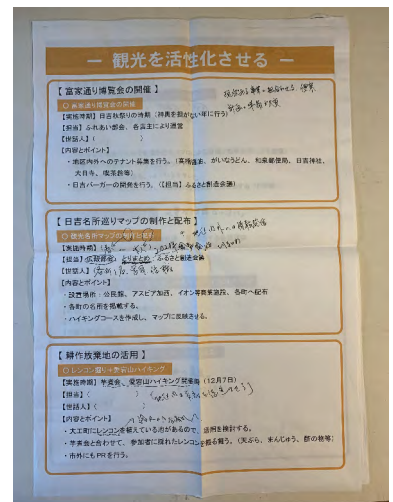
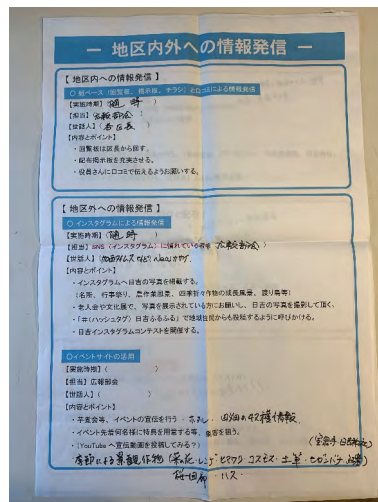
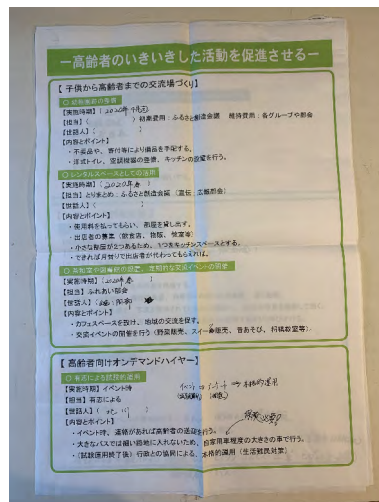
日時：令和元年10月23日（水）

参加者：約30名

テーマ：計画の内容を確認し、将来像を検討する

ワークショップの概要：

前回のワークショップを踏まえて修正した活動計画について、全体での確認を行いました。その後、計画の内容についてグループに分かれて話し合い、最初に取り組む活動と、まちづくりの将来像について、検討を行いました。最後に全体で、最初に取り組む活動とまちづくりの将来像について、全体での確認を行いました。



▲ 最初に取り組む活動を考えるワークショップ 模造紙

まちづくりの将来像（案）： **子どもの姿が見え、若者が帰ってくる、高齢者もいきいき活躍できる、元気で住み良い町**

— 地区内外への情報発信 —

《第1段階の活動》

○紙ベースと口コミによる情報発信

- ・広報部が年4回配布している広報紙を充実させる。
- ・各区長から回覧板を回し、情報共有・発信する。

【実施時期】 適宜

【担当】 広報部

○Instagramによる情報発信

- ・Instagramを活用し、日吉の写真を掲載する。
(四季折々の風景、行事祭り、名所、渡り鳥など)
- ・文化展等で写真を掲示されている方に、写真の掲載をお願いする。
- ・日吉Instagramコンテストを開催する。

【実施時期】 適宜

【担当】 広報部

《第2段階以降の活動（案）》

○イベントサイトの活用

- ・イベントの宣伝、収穫情報等を掲載する。

— 地区内の交流を促進させる —

《第1段階の活動》

○交流できる図書館の開設（幼稚園跡）

- ・本を置くための本棚作りを地域住民で行う。
- ・要らなくなった書籍の寄付を募る。

【実施時期】 適宜

【担当】 ふれあい部会

○幼稚園跡の整備

- ・水回りや空調機器等、残された箇所の整備を行う。

【実施時期】 適宜

【担当】 行政、ふれあい部会

《第2段階以降の活動（案）》

○開放日・管理者等の検討

- ・開放日、管理者等を定める。

○交流イベントの開催・喫茶や野菜販売所の設置

- ・芋煮会や夏祭り等イベントを開催する。
- ・喫茶や野菜販売所を設置する。

— 観光を活性化させる —

《第1段階の活動》

○観光名所マップの制作と配布

- ・地区内外への情報発信として、観光名所マップを作成する。
- ・ハイキングコースを作成し、マップに落としこむ。
- ・紙ベースによる配布と、SNSにより、情報発信する。
- ・宮司、住職の方等、名所に詳しい方に協力を仰ぐ。

【実施時期】 2020年春～：調査開始 2020年秋：配布

【担当】 広報部

《第2段階以降の活動（案）》

○レンコン掘り+愛宕山ハイキング

- ・大工町の池を活用してレンコンを栽培する。
- ・愛宕山ハイキングで行う芋煮会と合わせて、レンコン料理を振る舞う。

○富家通り博覧会の開催

- ・地区内外ヘテナントを募集開催する。
- ・博覧会に合わせて、日吉バーガーの開発を行う。

— 若者が帰って来やすい仕組みづくり —

《第1段階の活動》

○子育て喫茶の開設（幼稚園跡）

- ・喫茶を行ってくれる人を講演会、イベント等で募集する。
- ・週1回程度のオープンから、実験的に始める。

【実施時期】 2020年度前半

【担当】 ふれあい部会

○地区内老人によるお悩み相談

- ・月1回程度から、交流を目的としてお悩み相談会を実施する。

【実施時期】 2020年度前半

【担当】 ふれあい部会

《第2段階以降の活動（案）》

○住居購入の容易化・働く場所の確保

- ・行政に提案ができる、新たな部会を設立する。
- ・土地利用の規制緩和、所得税の減免、出生祝金の支給制度、日吉バスポートの発行、阪神間への通勤圏化などについて検討する。（予定）

— 高齢者のいきいきした活動を促進させる —

《第1段階の活動》

○子供からお年寄りまでの交流の場づくり

- ・空き施設（幼稚園跡）を有効活用出来るフォーマットを考える。
- ・定期的な交流イベント（軽トラ市等）を開催する。
- ・幼稚園跡の活用に向けて、空調や水回り等の整備を行う。

【実施時期】 2020年度前半

【担当】 すこやか部会（交流イベント企画：阿部）

○高齢者向けオンデマンドハイヤーの試験的運用

- ・春開催予定のイベント時、連絡があれば高齢者の送迎を行う。
- ・マイクロバス等により送迎を行う。（※保険加入必須）
- ・試験的運用後、アンケート調査を行う。

【実施時期】 イベント開催時

【担当】 有志による（世話人：北川）

《第2段階以降の活動（案）》

○高齢者向けオンデマンドハイヤーの本格的運用

- ・アンケート調査を踏まえて、行政との協働により運用する。
- ・マイクロバス等により送迎を行う。
- ・保険などの運営形態を考える。

○資金的に独立できる運営形態を目指す

- ・人を呼ぶヒット商品を開発する。

— 豊かな自然を守り育てる —

《第1段階の活動》

○花見会の実施（乙和泉グラウンド）

- ・日吉花見会を、乙和泉グラウンドにて実施する。

【実施時期】 2021年4月頃

【担当】 環境部会

○普光寺川での川あそび

- ・川探検を行い、普光寺川で安全に遊ぶ場所を探す。
- ・子供たちに川に関心を持ってもらうため、魚つかみやサワガニとり等の川遊びを実施する。

【実施時期】 適宜

【担当】 環境部会

《第2段階以降の活動（案）》

○花見会の実施（各町花見名所にて）

- ・各町の花見名所にて、持ち回り制で日吉花見会を行う。

○普光寺川の環境向上、ホテルの養殖

- ・有志によるゴミ拾いを行う。
- ・ホテルについての勉強会を実施し、生息調査や環境向上に向けたルールの設定を行っていく。

⑨第9回プログラム

日時：令和元年11月20日（水）

参加者：約30名

テーマ：計画書案を検討する

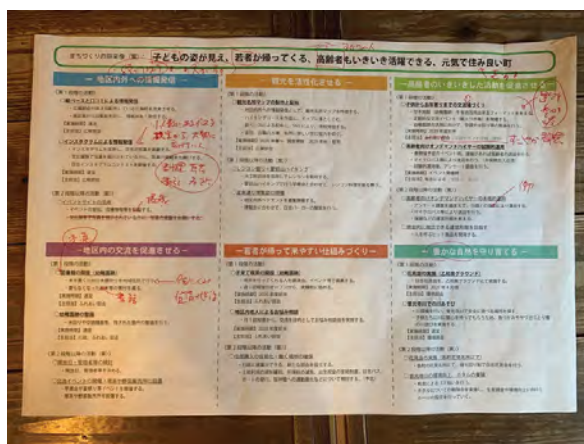
ワークショップの概要：

前回のワークショップを踏まえて修正した活動計画と、まちづくりの将来像について、全体で確認を行いました。その後、活動計画とまちづくりの将来像に対する旗揚げアンケートを実施し、個人意見の共有を行いました。



▲ ワークショップの様子

	将来像	情報発信	観光	高齢者	町内交流	若者	自然
1	よい	9	11	12	14	14	9
2	どちらともいえない	13	16	15	11	11	17
3	どちらともいえない	2	0	0	1	1	0
4	どちらともいえない	0	0	0	0	0	0
5	よい	0	0	0	0	0	0



▲ 旗揚げアンケート結果と活動計画案

⑩第10回プログラム

日時：令和元年12月18日（水）

参加者：約30名

テーマ：計画書案を検討する（2）

ワークショップの概要：

前回のワークショップを踏まえて修正した活動計画と、まちづくりの将来像について、全体で確認を行いました。その後、活動計画とまちづくりの将来像に対する旗揚げアンケートを実施し、意見の共有を行いました。次に、6つのグループに分かれ、計画書の表紙デザインを考えるワークショップを行いました。最後に、各グループで検討したデザインを全体で発表し、シール投票を行いました。



▲ ワークショップの様子



日吉地区の将来像		
1	子どもの姿が見え、若者が帰ってくる、高齢者がいはい活躍できる元気なまち	2
2	みんなが いはいき活躍できる住みまち へるしの帰る若者が帰る 高齢者いはい	17
3	みんなが いはい活躍できる住みまち	6
4		
5	その他	1

▲ シール投票結果と旗揚げアンケート結果

⑪第11回プログラム

日時：令和2年1月15日（水）

参加者：約30名

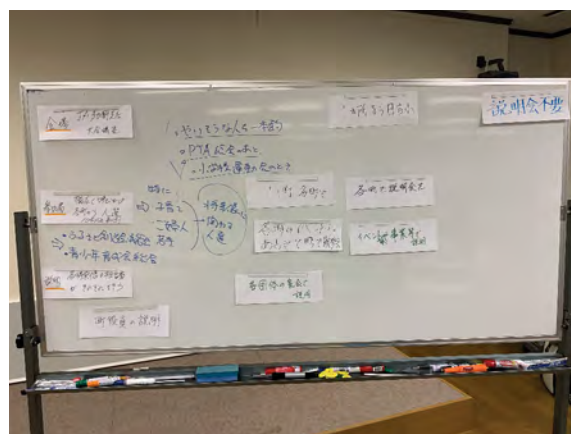
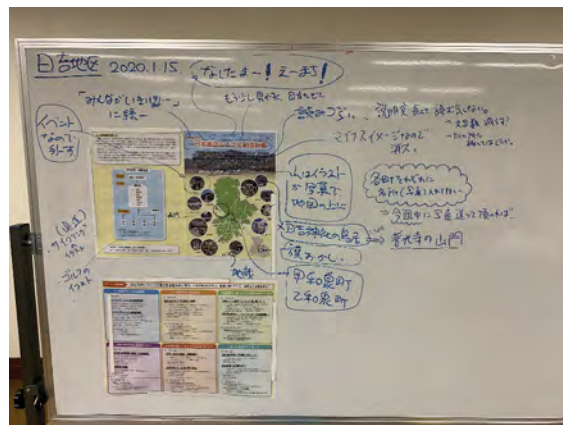
テーマ：計画書案を確認し説明会を検討する

ワークショップの概要：

これまでのワークショップを踏まえて作成した活動計画と、日吉地区ふるさと創造計画書の内容についての確認を行い、意見交換を行いました。その後、作成した計画案の説明会を、どのように行うのかについて、全体での意見交換を行いました。



▲ ワークショップの様子



▲ 活動計画書・説明会についての意見交換まとめ

(3) まちづくりへ向けた魅力と課題の整理

平成30年10月に行った第1回プログラム「自分の区や日吉地区の魅力と課題を考えるワークショップ」より、参加者から示された日吉地区の「魅力と課題」についてのまとめを以下に示します。

《日吉地区の魅力》

・豊かな食文化

日吉地区には、本場のさぬきうどんの味を楽しむことができる、がいな製麺所のがいなうどんや、大正10年創業の昔からの伝統を受け継ぐ醤油蔵、高橋醤油があり、伝統的で美味しい食材を提供する店舗が揃っています。また、温暖な気候と肥沃な土壌から、昔から良質な米の生産地として発展してきており。ため池を活かした蓮根栽培等も行われていることから、豊かな食文化が魅力として挙げられています。

・豊かな自然環境

日吉地区は、加西市の天然記念物であるモリアオガエル、ヒメハルゼミの生息場所として知られています。普光寺川周辺には、全国的に数が減少しているホタルが多数生息しており、初夏の風物詩としてホタル観賞が行われています。また、普光寺川沿いには美しい桜が立ち並び、春には花見会が行われるなど、豊かな自然環境が魅力として挙げられます。

・歴史のある文化財、伝統行事

日吉地区には、神社や寺院等の歴史的な文化材が多く残ります。また、今も続く各町に残る伝統行事も、日吉地区の魅力として挙げられています。

・人のつながりが強い

日吉地区の住人は、のどかで中がよく、人とのつながりが強いことが、魅力として挙げられています。町内の運動会等行事も積極的に行われています。

・災害が少ない

日吉地区は災害が少なく、気候も温暖であることが魅力として挙げられています。

・都市圏へのアクセスが近い

大阪などの大都市からほぼ1時間圏内という、高速バスの利便性がよいことが魅力として挙げられています。

《日吉地区の課題》

・獣害被害が多い

豊かな自然環境に恵まれている反面、イノシシやシカ等が多く生息しており、獣害被害が多いようです。

・少子化・高齢化問題

全国的に問題となっている少子化・高齢化が課題として挙げられています。また、子どもの遊ぶ環境が少なく、子育て環境が不十分であるとの意見もありました。

・ 担い手の不足

高齢化に伴う次世代の担い手不足により、放棄田の増加、伝統的行事の継続、空き家の増加等が、課題として挙げられています。

・ 交通が不便である

大都市へのアクセスは良いものの、普段利用には交通の便が悪いことが挙げられました。車が無いと、生活の移動が大変であり、高齢化に伴い、買物難民も増加しているようです。

■自分の区の魅力と課題（自己紹介シートより）		
区	魅力	課題
池上町	<ul style="list-style-type: none"> ・天災に強い ・文化財多い ・最近平和 ・自然 ・中学数 	<ul style="list-style-type: none"> ・近い将来、空き家が増える ・老人が多い ・担い手不足 ・人口減、高齢化 ・農業
満久町	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が少ない ・のどかな土地、のどかな人 ・自然が豊かである ・ご近所とのつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化 ・若い人とのコミュニケーション力ない ・交通面が不便、買物不便 ・空き家が多くなっています
甲和泉町	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしい米がとれる ・仲が良い ・若者と老人のふれあいがよい ・旧婦人会を通してのつながり ・伝統的行事が継続されていること 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化 ・子供たちが少ない ・後継者がいない ・高齢者の移動手段
乙和泉町	<ul style="list-style-type: none"> ・のどかな土地で災害が少ない ・ご近所とのつながりは今も守っている ・伝統的な行事を今も守っている ・郵便局のすじ(昔、富家と呼ばれていた) 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が少なくなっている ・少子、高齢化が深刻 ・高齢者世帯、独居世帯の増加 ・農業の担い手、後継者 ・町内行事の担い手
馬渡谷町	<ul style="list-style-type: none"> ・温暖で災害が少ない ・町民同士のつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通が不便 ・若い人が少ないこと ・公民館がかたむいている事
河内町	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊か(他にない) ・田舎 ・普光寺 ・行者道 ・ホテル、ハイキングコース ・おだやかな人が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・各戸高齢化、子供減少 ・少子化 ・若い人が少ない、若い人の減少 ・老人が多い ・単身世帯、高齢者のみ世帯増加 ・イノシシが多い
島町	<ul style="list-style-type: none"> ・ひねくれ者は少なく、和気あいあいと付き合っています 	<ul style="list-style-type: none"> ・独居老人が増えている ・若者が定住しない ・空き家も有
大工町	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな町なのでわりとまとまっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、活動が難しくなっている
西野々町	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人とのほどよい距離感 ・団結力 ・住民の気質が温和 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増 ・50代以下の世代が少ない
野上町	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かで三世代そろっているお家が多いこと ・災害が少ないこと ・グラウンド周りの桜が美しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が少ない ・交通の便が不便であるので、将来不安である声
山田町	<ul style="list-style-type: none"> ・自然 ・虚空蔵さん ・のどかで素朴 ・のどかで田や山がある ・皆、親切で協力的である 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口 ・若い人の働き場がない ・少子化(子供が少ない) ・若い人が少なくなっている ・年寄りが多い(独居世帯が増えている) ・山と田んぼばかりで、発展することがない

▲自分の区の課題と魅力まとめ

第3章 日吉地区が目指す将来像

これまでの検討結果を元にまとめた、日吉地区が目指す将来像と、まちづくりの基本方針を、以下に示します。

(1) まちづくりの将来像

みんながいきいき活躍できる住みよいまち
～子どもの姿が見え、若者が帰ってくる、高齢者も元気なまち～

(2) まちづくりの基本方針

○ 地区内外への情報発信を充実する

日吉地区の魅力を多くの人に知ってもらうため、地区内外への情報発信を充実させます。

○ 高齢者のいきいきした活動を促進する

高齢になっても不便なく暮らせる日吉地区を目指し、高齢者がいきいきと活躍できる環境づくりを目指します。

○ 若者が帰ってきやすいまちづくりを推進する

日吉地区から郊外へと出て行った若者がふるさとに帰って来やすいような、働く環境があり、子育てのしやすい環境づくりを目指します。

○ 地区内の交流を促進する

日吉地区内の交流を促進させるため、地域交流の場を設けるなど、地域の人が集まれるしくみを作ります。

○ 豊かな自然を守り育てる

日吉地区が誇る豊かな自然環境を、次世代にも継承していくため、自然を守り、育てていく仕組みづくりから行います。

○ 観光の活性化を図る

日吉地区の、歴史ある貴重な文化財や、豊かな自然環境を活かして、観光事業の活性化を図ります。

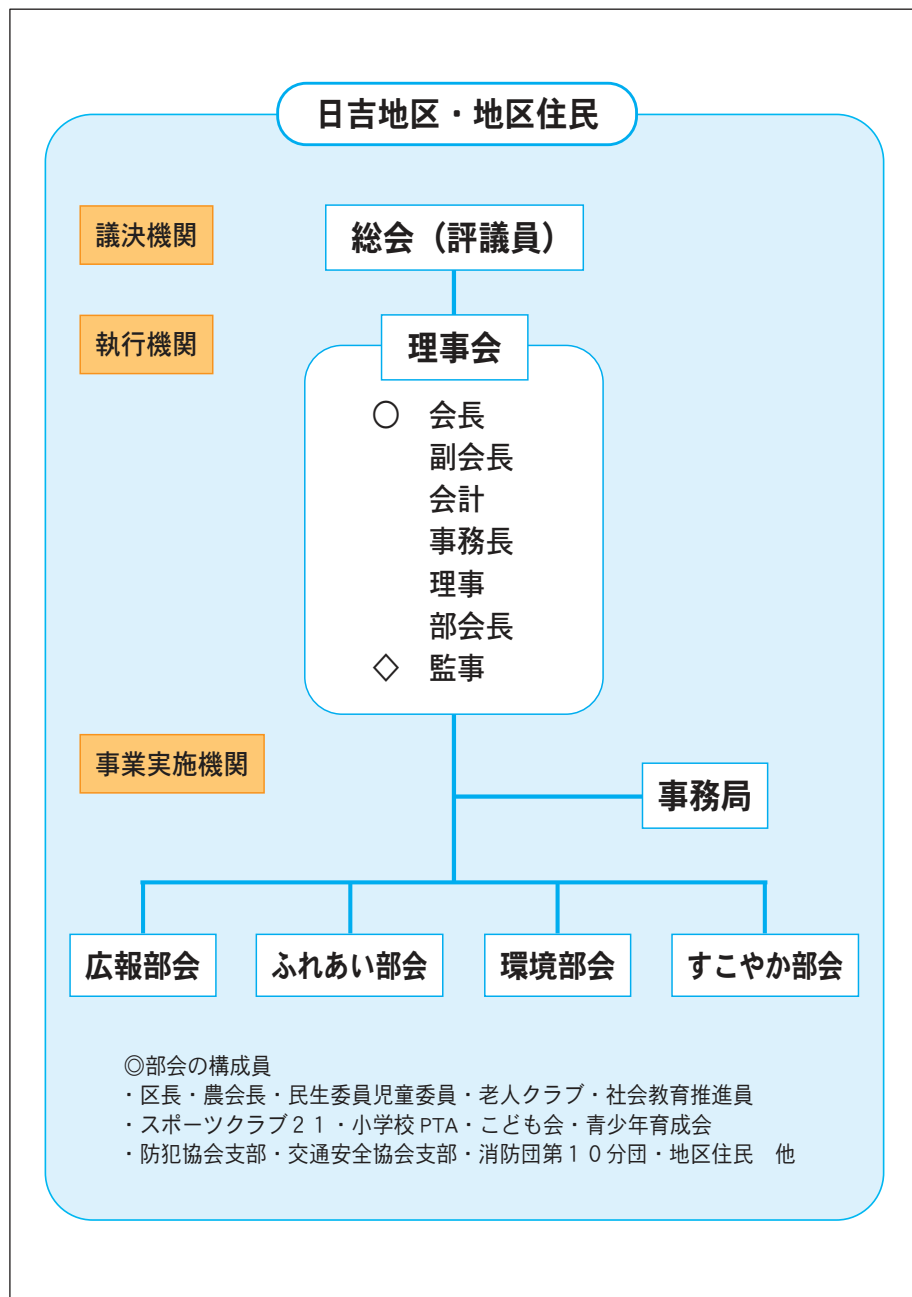
第4章 まちづくりの推進に向けて

(1) 活動組織の体制

現在、地域では、自治会を始め民生委員や PTA、老人会、青少年健全育成会など様々な地域団体が活動しています。今後、さらに多様化・複雑化していく地域課題に対応するためには、これらの団体の連携を強め、多くの地域住民の皆さんが話し合い、意見を出し、それぞれの地域団体が個別に活動してだけでなく、協働、連携して活動し、自分達の地域に必要なことを「地域で決めて、地域で実行する」しくみが必要です。

「地域で決めて、地域で実行する」しくみの主体組織が、ふるさと創造会議（まちづくり協議会）です。

ふるさと創造会議（まちづくり協議会）とは、概ね小学校区を範囲とし、自治会を始めとする地域の様々な団体が構成される組織です。暮らしやすく魅力のある地域づくりのため、以下の体制で地域課題の解決や多様なニーズに対応した様々な活動を展開します。



▲ 日吉地区 組織イメージ図

(2) 今後の活動計画

ふるさと創造会議（まちづくり協議会）は、安心安全で魅力ある地域をつくっていくために、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という姿勢で、多様な地域住民の参画のもと、各種団体との協働により地域の課題や特色に応じた様々な活動を行います。

以下に、今後の活動計画を示します。

i. 地区内外への情報発信

地区内の高齢者に向けた情報発信を行うため、SNS 等による情報発信だけではなく、広報部会が既に行っている広報紙や、回覧板を充実させます。

また、地区外への情報発信のため、Instagramを活用し、日吉の季節の写真等を掲載し、地区外への日吉地区の魅力発信を行います。また、Instagram写真コンテストを行い、さらなる興味を引き寄せます。

— 地区内外への情報発信 —

《第1段階の活動》

紙ベースと口コミによる情報発信

- ・ 広報部会が年4回配布している広報紙を充実させる。
- ・ 各区長から回覧板を回し、情報共有・発信する。

【実施時期】 適宜 【主担当】 広報部会

Instagramによる情報発信

- ・ Instagramを活用し、日吉の写真を掲載する。
（四季折々の風景、行事祭り、名所、渡り鳥など）
- ・ 文化展等で写真を掲示されている方に、写真の掲載をお願いする。
- ・ 日吉Instagramコンテストを開催する。

【実施時期】 適宜 【主担当】 広報部会

《第2段階以降の活動（案）》

○イベントサイトの活用

- ・ イベントの宣伝、収穫情報等を掲載する。

ii. 高齢者のいきいきした活動の促進

高齢者のいきいきした活動を促進させるため、幼稚園跡を活用した、子どもからお年寄りまでの交流の場を作ります。そのため、まずは空き施設を有効活用できるフォーマットを作成することから始めます。フォーマットが出来れば、定期的な交流イベント（軽トラ市等）を開催します。また、幼稚園跡の内部に関しては、活用に向けての空調や水回り等の整備を行い、将来的には貸スペースとしての活用を目指すたくします。

また、イベントの開催時には高齢者向けのオンデマンドハイヤーの試験的運用を行い、移動手段を持たない高齢者がイベントに参加できるよう、有志による送迎を行います。送迎の車に関しては、大型バス等では狭い道を走ることが出来ないため、マイクロバス等による送迎とし、有志の方へのリスクヘッジとして保険への加入を必須とします。試験的運用後、利用者へのアンケート調査を行い、本格的運用に向けた意見調査を行います。

— 高齢者のいきいきした活動を促進させる —

《第1段階の活動》

子供からお年寄りまでの交流の場づくり

- ・ 空き施設（幼稚園跡）を有効活用出来るフォーマットを考える。
- ・ 定期的な交流イベント（軽トラ市等）を開催する。
- ・ 幼稚園跡の活用に向けて、空調や水回り等の整備を行う。

【実施時期】 2020年度前半 【主担当】 すこやか部会

高齢者向けオンデマンドハイヤーの試験的運用

- ・ 春開催予定のイベント時、連絡があれば高齢者の送迎を行う。
- ・ マイクロバス等により送迎を行う。（※保険加入必須）
- ・ 試験的運用後、アンケート調査を行う。

【実施時期】 イベント開催時 【主担当】 有志による

《第2段階以降の活動（案）》

○ 高齢者向けオンデマンドハイヤーの本格的運用

- ・ アンケート調査を踏まえて、行政との協働により運用する。
- ・ マイクロバス等により送迎を行う。
- ・ 保険などの運営形態を考える。

○ 資金的に独立できる運営形態を目指す

- ・ 人を呼ぶヒット商品を開発する。

iii. 若者が帰ってきやすいまちづくり

幼稚園跡を活用し、子育て喫茶を開設します。まずは喫茶を行ってくれる人物を講演会や、イベント等の人が集まる機会に募集し、呼びかけを行います。喫茶を行う人物が現れば、まずは月一回程度のオープンを目指し、実験的に喫茶の開設を行います。

また、こちらも月一回程度から、お年寄りと若者の交流を目的として、地区内老人によるお悩み相談会を実施します。

ー若者が帰って来やすい仕組みづくりー

《第1段階の活動》

子育て喫茶の開設（幼稚園跡）

- ・喫茶を行ってくれる人を講演会、イベント等で募集する。
- ・週1回程度のオープンから、実験的に始める。

【実施時期】2020年度前半

【主担当】ふれあい部会

地区内老人によるお悩み相談

- ・月1回程度から、交流を目的としてお悩み相談会を実施する。

【実施時期】2020年度前半

【主担当】ふれあい部会

《第2段階以降の活動（案）》

○住居購入の容易化・働く場所の確保

- ・行政に提案ができる、新たな部会を設立する。
- ・土地利用の規制緩和、所得税の減免、出生祝金の支給制度、日吉パスポートの発行、阪神間への通勤圏化などについて検討する。（予定）

iv. 地区内の交流の促進

地区内の交流を図るため、幼稚園跡の活用を目指します。

まずは交流可能な図書館の開設を行うための整備として、地区内住民による本棚作りを行います。配置する書籍に関しては、不要になった書籍の寄付を地区内住民等から募ります。

また、幼稚園後の活用に向け、水回りや空調機器等、残された箇所の整備を行います。

—地区内の交流を促進させる—

《第1段階の活動》

交流できる図書館の開設（幼稚園跡）

- ・本を置くための本棚作りを地域住民で行う。
- ・要らなくなった書籍の寄付を募る。

【実施時期】 適宜

【主担当】 ふれあい部会

幼稚園跡の整備

- ・水回りや空調機器等、残された箇所の整備を行う。

【実施時期】 適宜

【主担当】 ふれあい部会

《第2段階以降の活動（案）》

○開放日・管理者等の検討

- ・開放日、管理者等を定める。

○交流イベントの開催・喫茶や野菜販売所の設置

- ・芋煮会や夏祭り等イベントを開催する。
- ・喫茶や野菜販売所を設置する。

v. 豊かな自然の守り育て

豊かな自然を守り、育てていくため、様々な動植物が生息する普光寺川の環境向上を目指します。川の整備を行う前に、まずは子どもたちに、川に関心を持ってもらうことを目的とて、川探検を行い、安全に遊ぶことができる場所を探します。安全に遊べる場所を見つければ、魚つかみやサワガニ捕り等の川遊びを実施し、子どもたちが集まるイベントを開催します。

また、自然を楽しむ企画として、花見会を実施します。場所はトイレ等も整備されている乙和泉グラウンドで実施し、日吉地区の美しい桜を鑑賞します。

— 豊かな自然を守り育てる —

《第1段階の活動》

花見会の実施（乙和泉グラウンド）

- ・日吉花見会を、乙和泉グラウンドにて実施する。

【実施時期】2021年4月頃

【主担当】環境部会

普光寺川での川あそび

- ・川探検を行い、普光寺川で安全に遊べる場所を探す。
- ・子供たちに川に関心を持ってもらうため、魚つかみやサワガニとり等の川遊びを実施する。

【実施時期】適宜

【主担当】環境部会

《第2段階以降の活動（案）》

○花見会の実施（各町花見名所にて）

- ・各町の花見名所にて、持ち回り制で日吉花見会を行う。

○普光寺川の環境向上、ホタルの養殖

- ・有志によるゴミ拾いを行う。
- ・ホタルについての勉強会を実施し、生息調査や環境向上に向けたルールを設定を行っていく。

vi. 観光の活性化

地区内外への、観光名所の情報発信として、観光名所を記載したマップを作成します。また、それに合わせたハイキングコースも作成し、同マップに記載します。作成したマップは各所に設置し、また SNS を活用して、マップの発信を行います。マップ作成時には、宮司、住職の方など、日吉地区の名所に詳しい方に協力を仰ぎます。

— 観光を活性化させる —

《第1段階の活動》

観光名所マップの制作と配布

- ・地区内外への情報発信として、観光名所マップを作成する。
- ・ハイキングコースを作成し、マップに落としこむ。
- ・紙ベースによる配布と、SNSにより、情報発信する。
- ・宮司、住職の方等、名所に詳しい方に協力を仰ぐ。

【実施時期】2020年春～：調査開始 2020年秋：配布

【主担当】広報部会

《第2段階以降の活動（案）》

○レンコン掘り+愛宕山ハイキング

- ・大工町の池を活用してレンコンを栽培する。
- ・愛宕山ハイキングで行う芋煮会と合わせて、レンコン料理を振る舞う。

○富家通り博覧会の開催

- ・地区内外へテナントを募集開催する。
- ・博覧会に合わせて、日吉バーガーの開発を行う。

